

## 5 サービス産業に対する消費について

### 5－1 1か月間の消費状況について

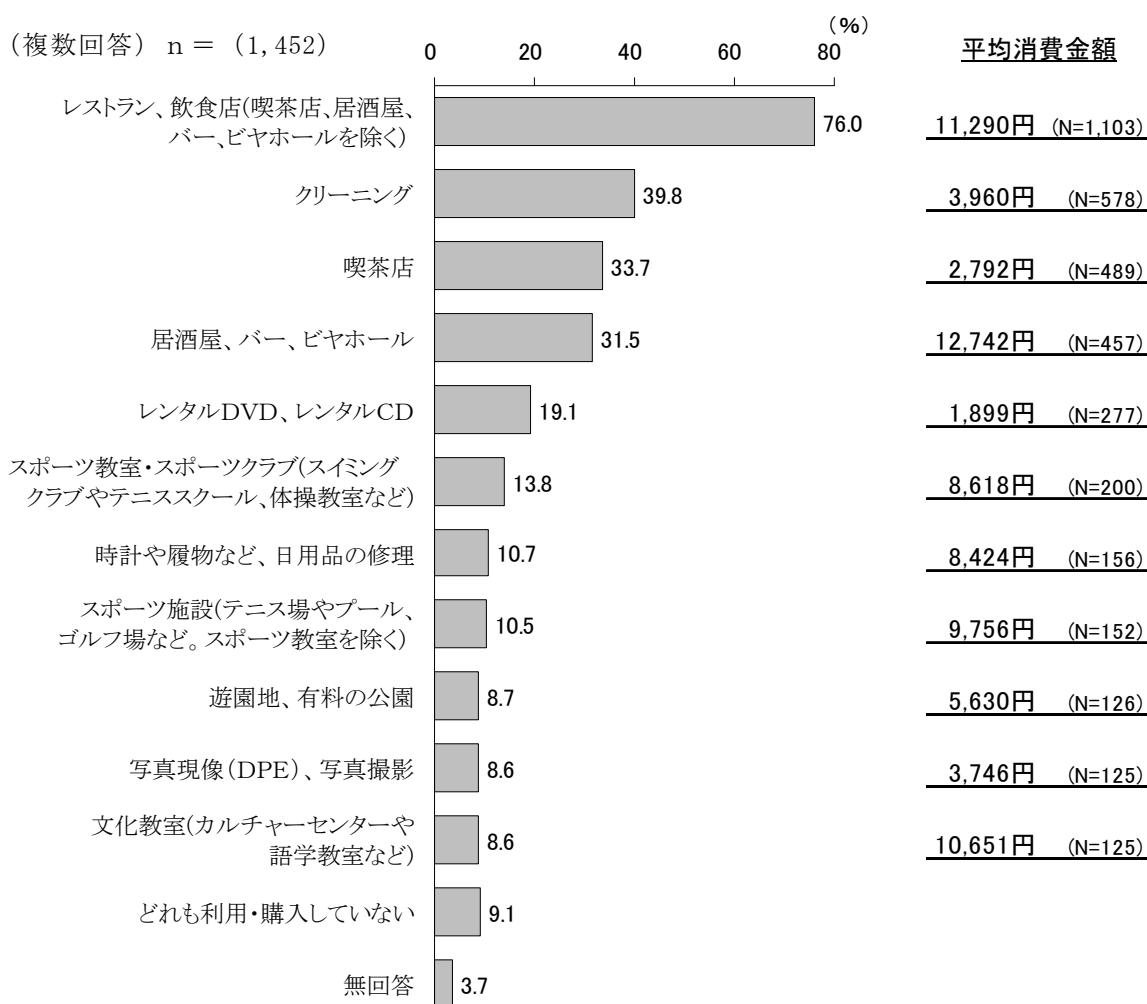
◎「レストラン、飲食店(喫茶店、居酒屋、バー、ビヤホールを除く)」が76.0%

問17 あなたは、この1か月間に次のサービスや物（有料のもの）をいくらくらい消費（利用、購入など）しましたか。消費したものの番号（1～12）に○をつけてください。（あてはまるものすべてに○）

また、いくらくらい消費したか、概算金額をご記入ください。

※あなたご自身（1人当たり）の金額をお答えください。

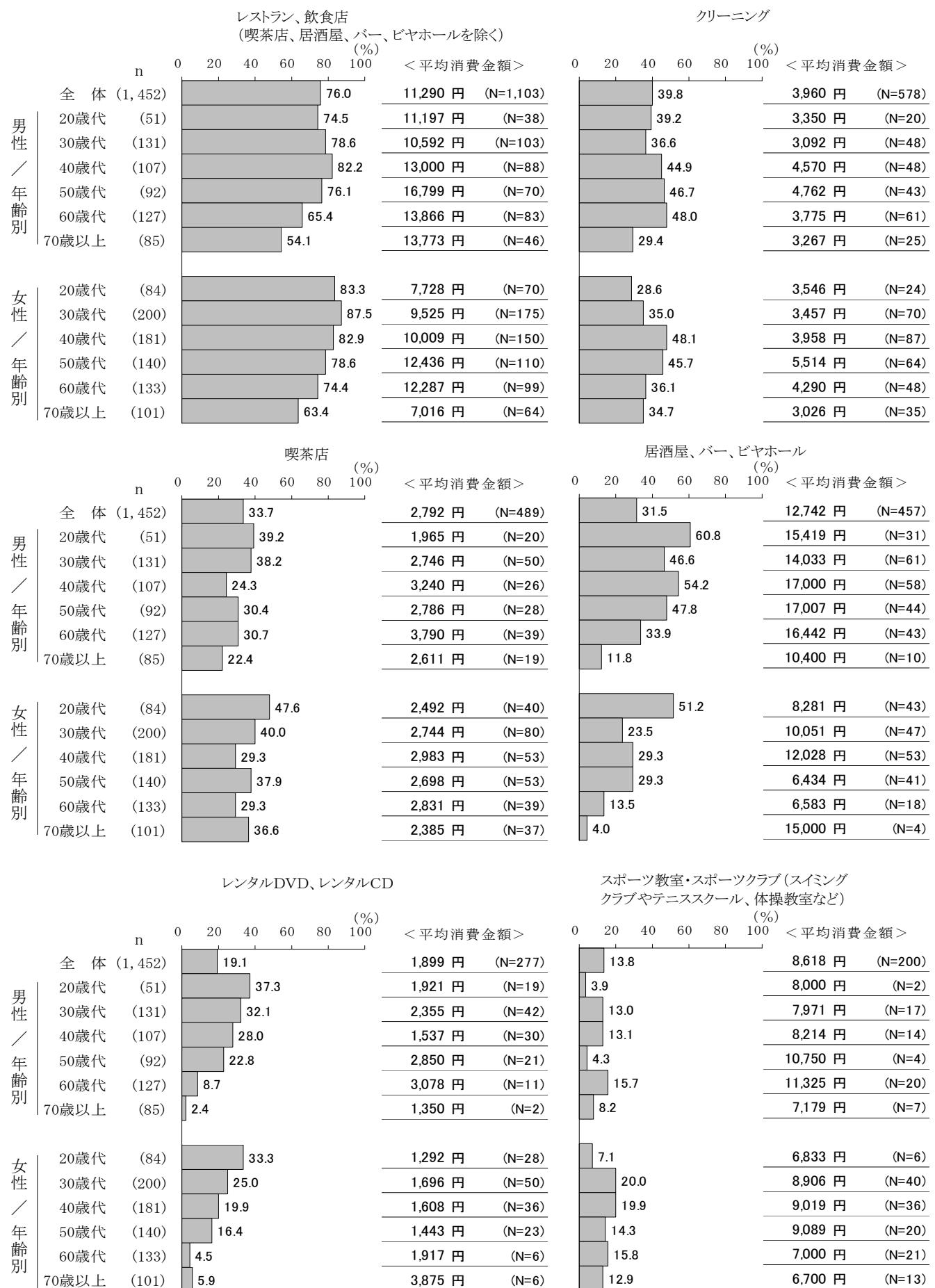
図表5－1 1か月間の消費状況



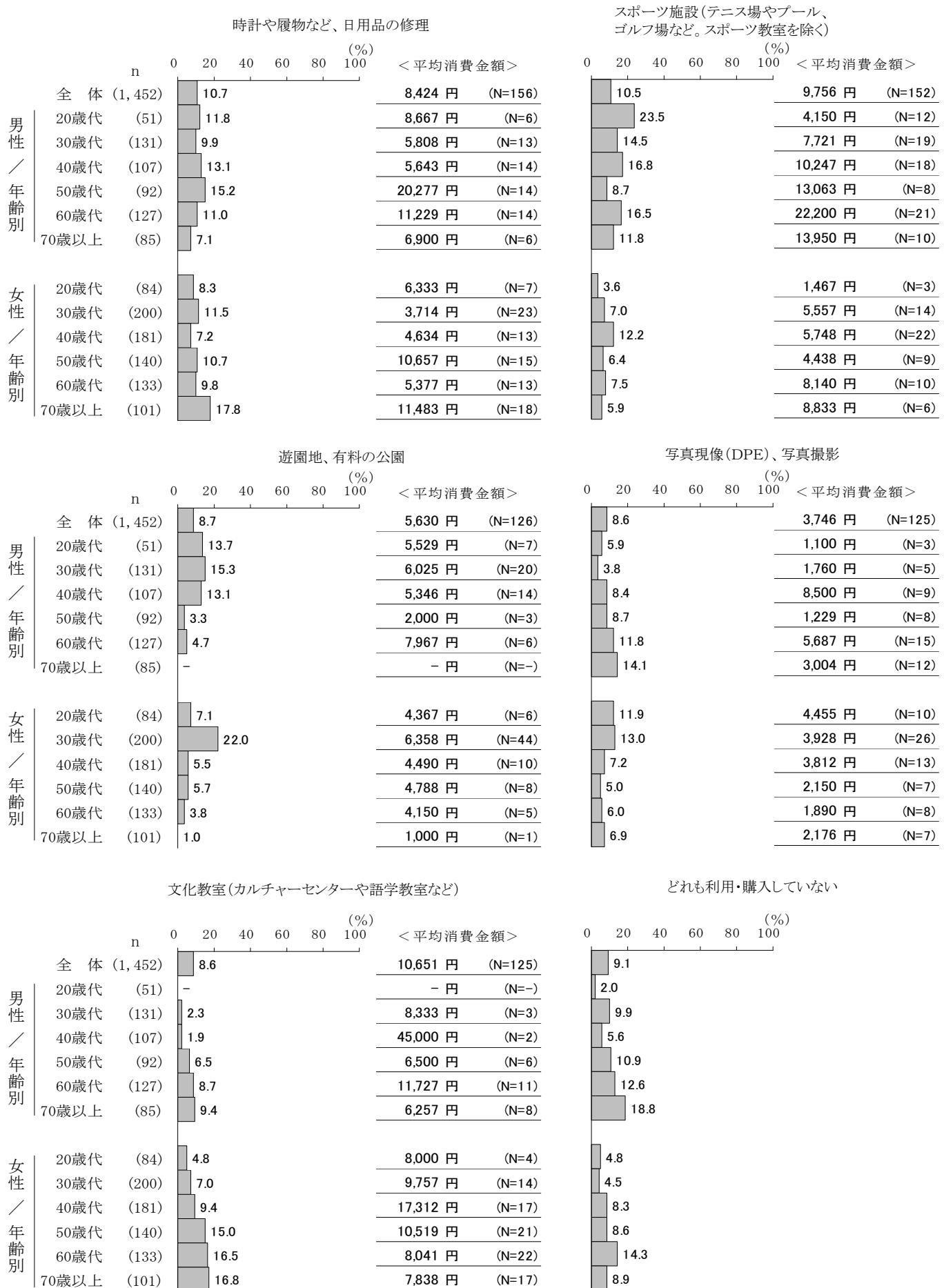
1か月間の消費状況については、「レストラン、飲食店」(76.0%) が最も多くなっている。次いで、「クリーニング」(39.8%)、「喫茶店」(33.7%)、「居酒屋、バー、ビヤホール」(31.5%) の順となっている。

平均消費金額は、「居酒屋、バー、ビヤホール」(12,742円) が最も多く、次いで「レストラン、飲食店」(11,290円)、「文化教室」(10,651円) の順となっている。(図表5－1)

図表5-2 1か月間の消費状況(性別/年齢別)



(第1回アンケート)

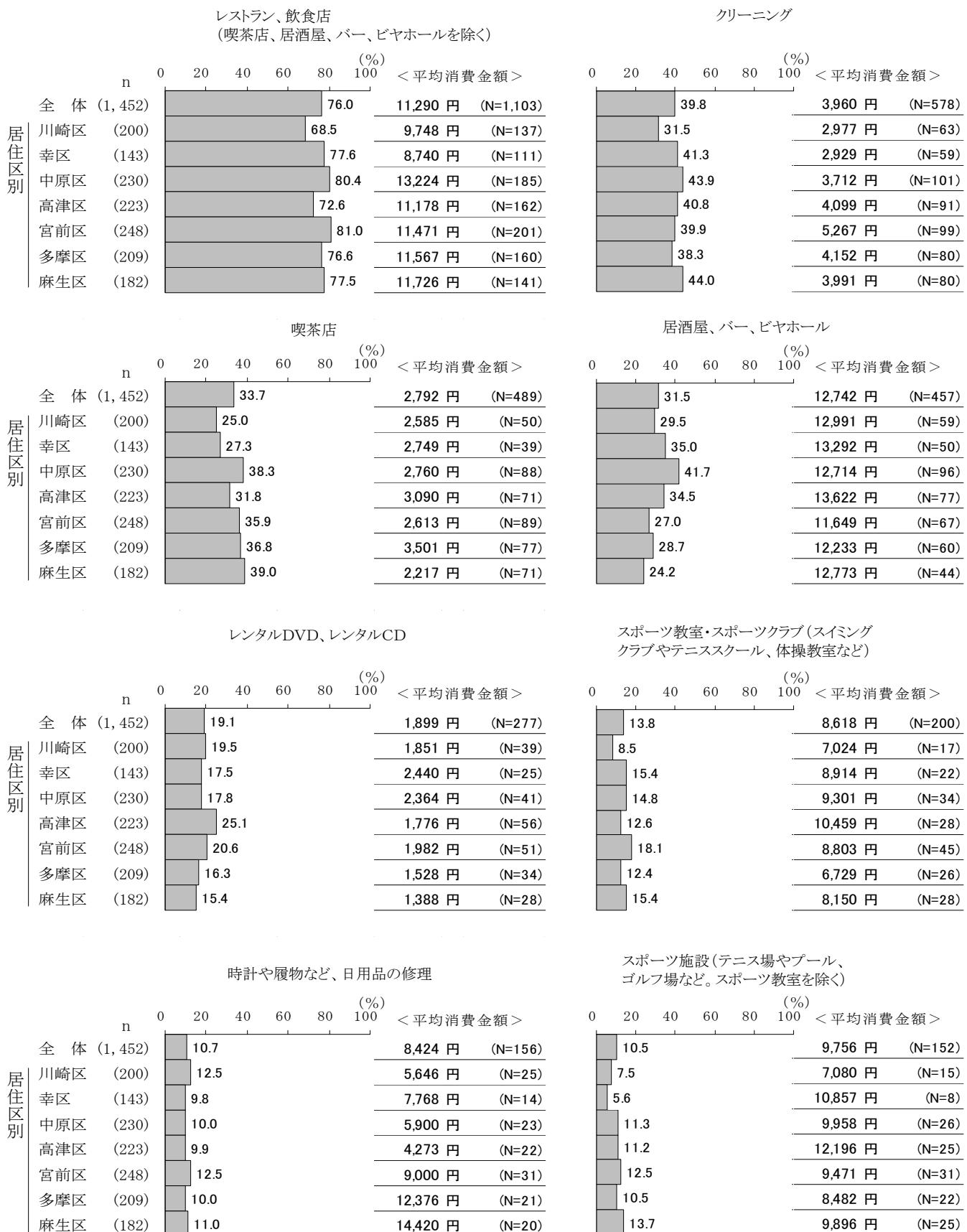


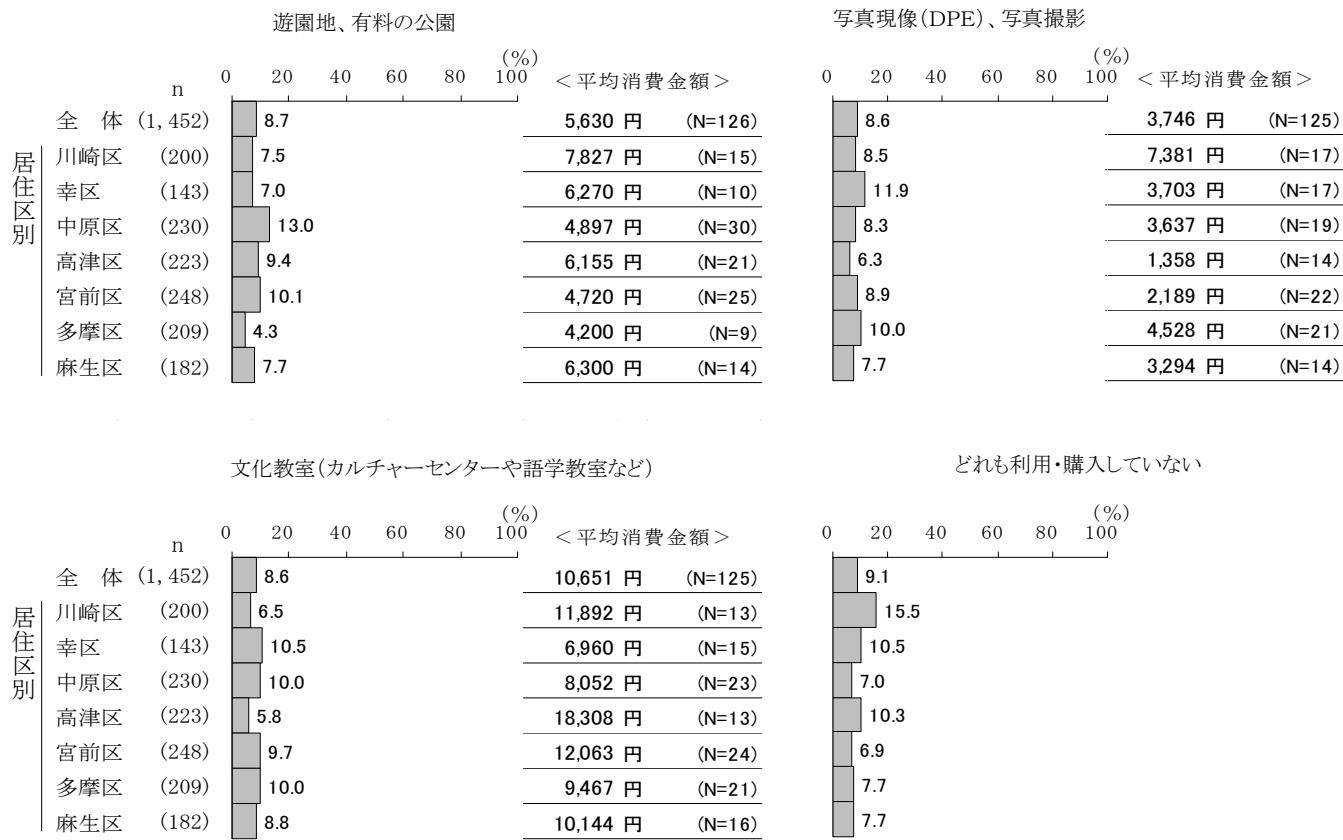
性／年齢別では、1か月間の消費状況について、「レストラン、飲食店」は、男性では20歳代から50歳代が7割台半ばから8割台前半となっているが、60歳代(65.4%)、70歳以上(54.1%)は少なくなっている。女性では、20歳代から60歳代が7割台半ばから8割台後半となっているが、70歳以上(63.4%)は少なくなっている。「クリーニング」は、男性では、おおむね年齢が高くなるにつれ割合が多くなっているが、70歳以上(29.4%)は最も少なくなっている。女性では、40歳代(48.1%)が最も多く、20歳代(28.6%)が最も少なくなっている。「喫茶店」は、男性では20歳代(39.2%)、30歳代(38.2%)が多くなっており、40歳代(24.3%)、70歳以上(22.4%)が少なくなっている。女性では、20歳代(47.6%)が最も多く、40歳代(29.3%)、60歳代(29.3%)が少なくなっている。「居酒屋、バー、ビヤホール」は、男女ともに20歳代(男性:60.8%、女性:51.2%)が最も多く、70歳以上(男性:11.8%、女性:4.0%)が最も少なくなっている。

平均消費金額については、「居酒屋、バー、ビヤホール」は、男性では40歳代(17,000円)、50歳代(17,007円)、60歳代(16,442円)が多くなっている。「レストラン、飲食店」は、男性では50歳代(16,799円)が、女性では50歳代(12,436円)、60歳代(12,287円)が多くなっている。(図表5-2)

(第1回アンケート)

図表5-3 1か月間の消費状況(居住区別)





居住区別では、1か月間の消費状況について、「レストラン、飲食店」は、宮前区 (81.0%)、中原区 (80.4%) が8割台と多くなっており、川崎区 (68.5%) が最も少なくなっている。「クリーニング」は、麻生区 (44.0%) が最も多く、川崎区 (31.5%) が最も少なくなっている。「喫茶店」は、川崎区 (25.0%) が最も少なくなっている。「居酒屋、バー、ビヤホール」は、中原区 (41.7%) が最も多く、麻生区 (24.2%) が最も少なくなっている。

平均消費金額については、「居酒屋、バー、ビヤホール」は、高津区 (13,622 円) が最も多くなっている。「レストラン、飲食店」は、中原区 (13,224 円) が最も多く、幸区 (8,740 円) が最も少なくなっている。(図表 5-3)

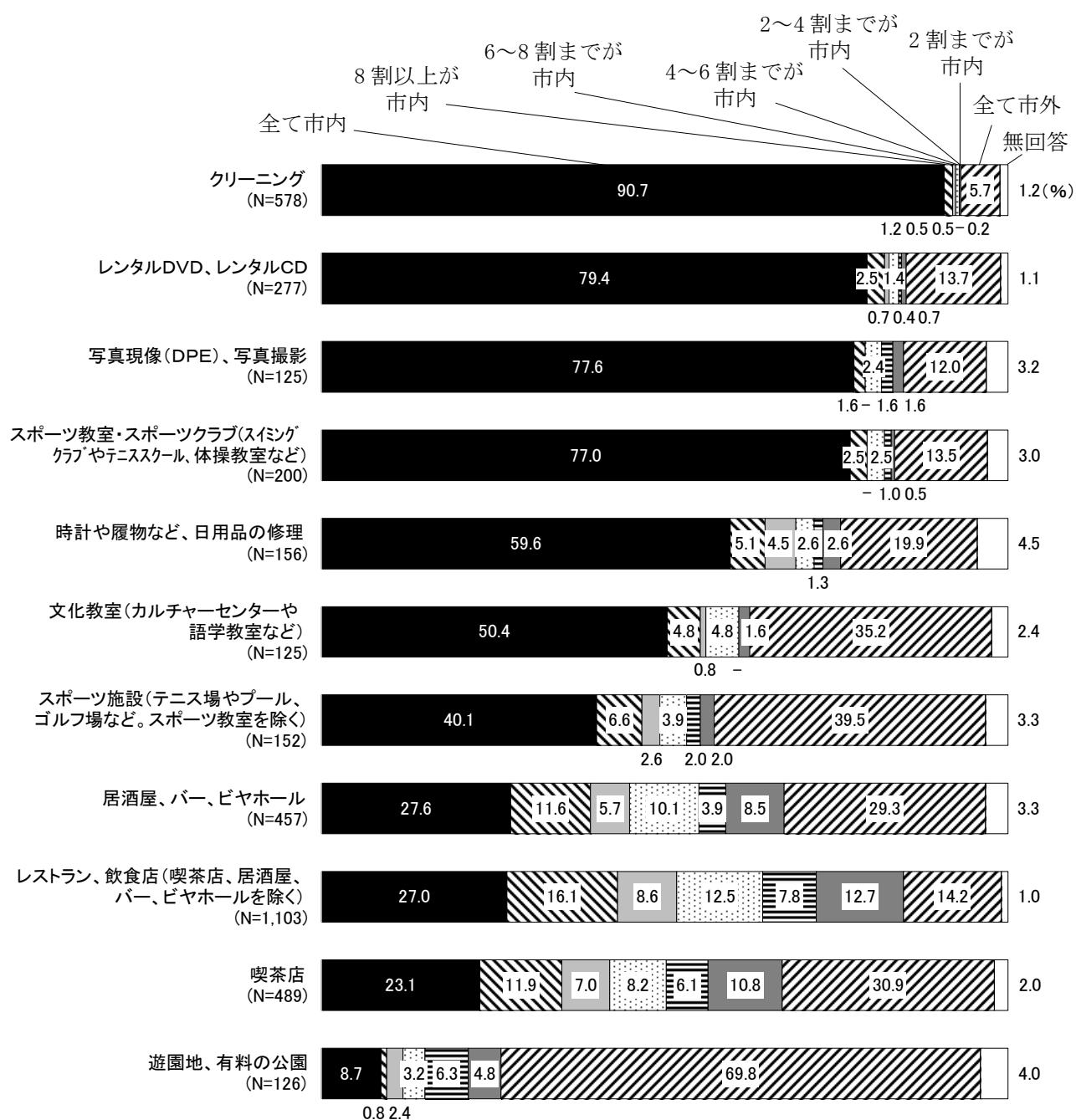
## 5－2 1か月間の市内での消費割合

◎『全て市内』で消費 「クリーニング」が90.7%

問17－1 問17で、この1か月間にサービスや物を有料で消費（利用、購入など）した項目についてうかがいます。（問17で○をつけた項目についてうかがいます。）

- A. あなたは、この1か月間に次のサービスや物を川崎市内で消費（利用、購入など）した割合はどれくらいですか。1～7のあてはまる番号をお選びください。（○はそれぞれ1つずつ）

図表5－4 1か月間の市内での消費割合

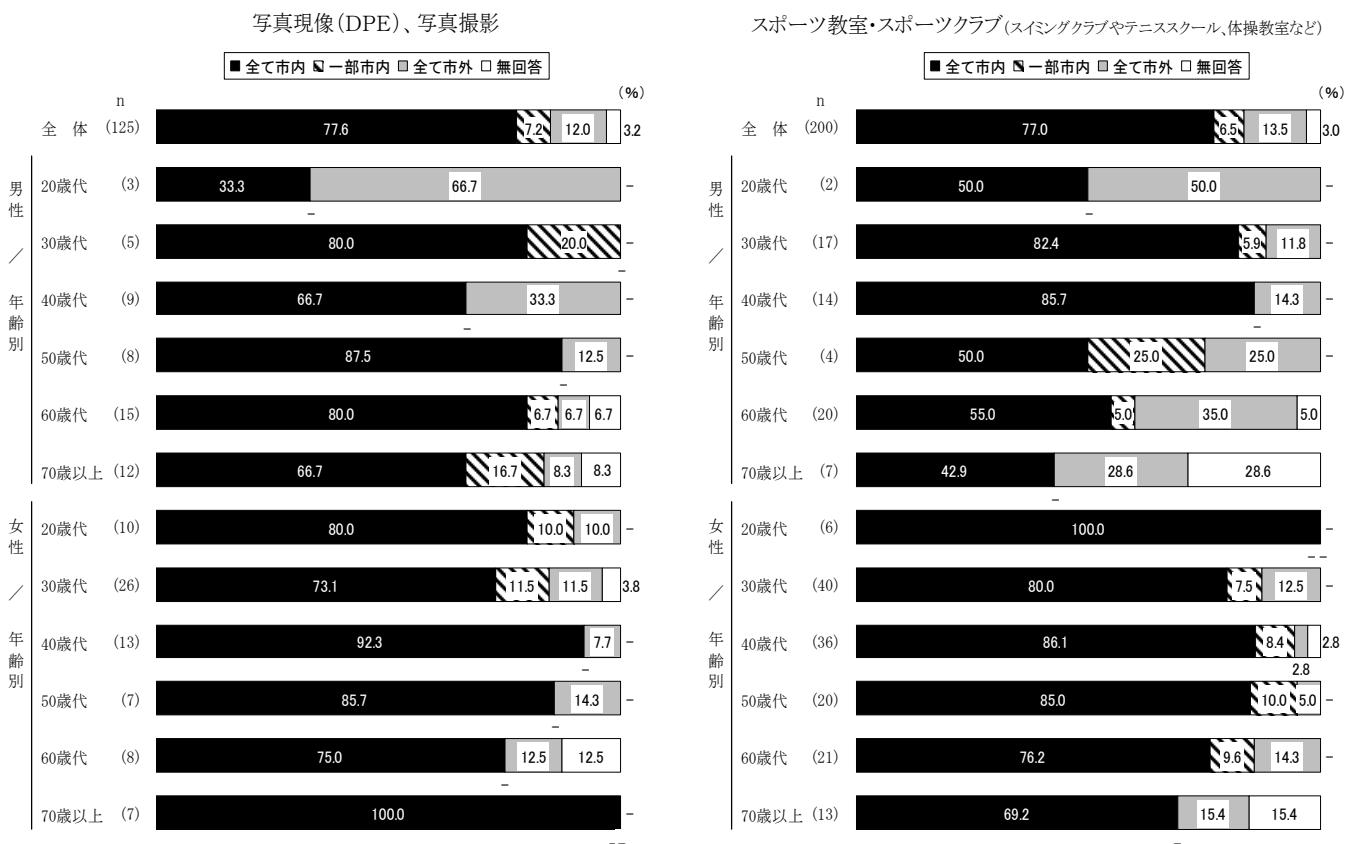
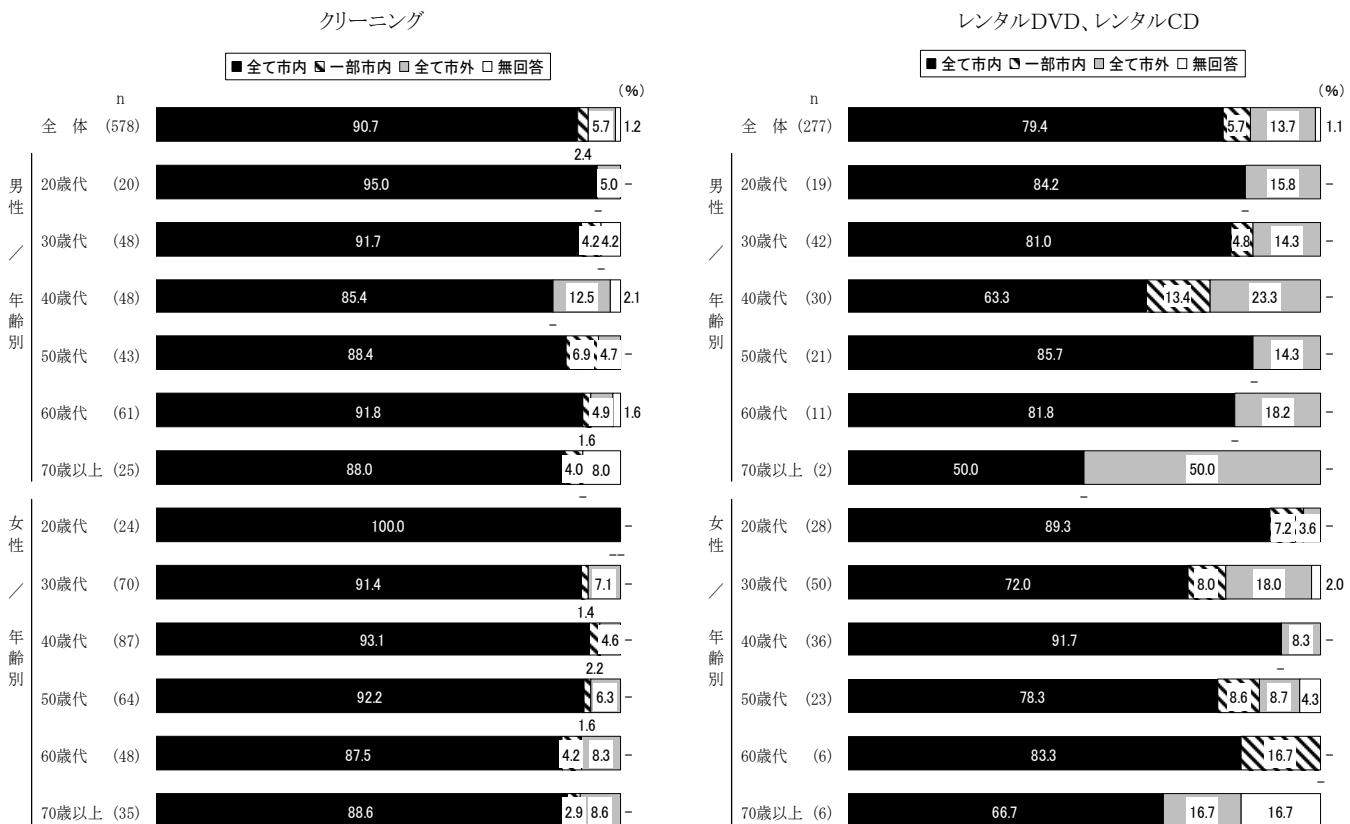


1か月間の市内での消費割合については、『全て市内』は、「クリーニング」(90.7%)が9割台と最も多くなっている。次いで、「レンタルDVD、レンタルCD」(79.4%)、「写真現像(DPE)、写真撮影」(77.6%)、「スポーツ教室・スポーツクラブ」(77.0%)の順となっている。一方、『全て市外』は、「遊園地、有料の公園」(69.8%)が最も多くなっており、次いで、「スポーツ施設」(39.5%)、「文化教室」(35.2%)の順となっている。(図表5-4)

(第1回アンケート)

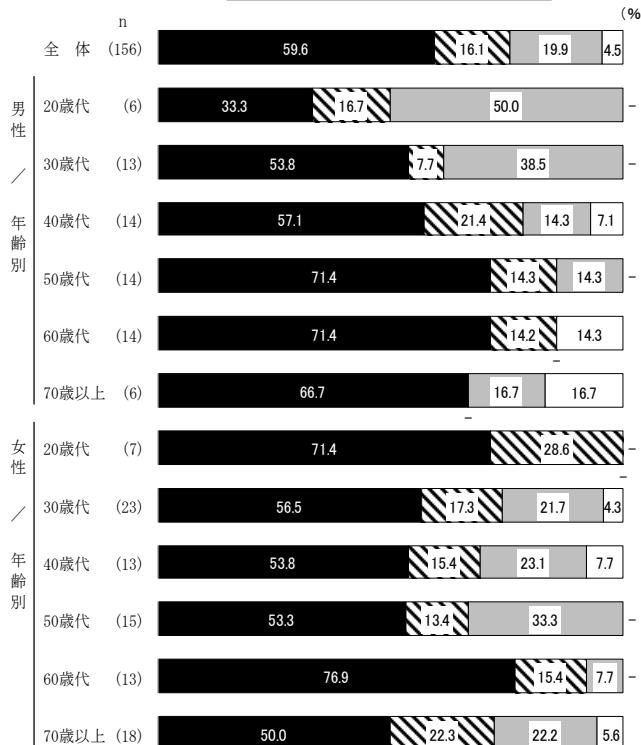
図表5-5 1か月間の市内での消費割合（性／年齢別）

※グラフでは、「8割以上が市内」から「2割までが市内」を「一部市内」としている。



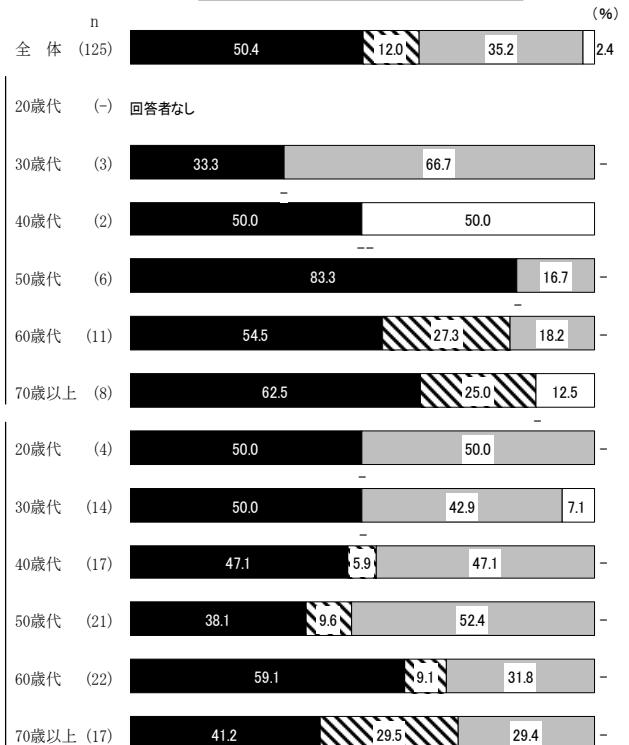
## 時計や履物など、日用品の修理

■全て市内 □一部市内 ▨全て市外 □無回答



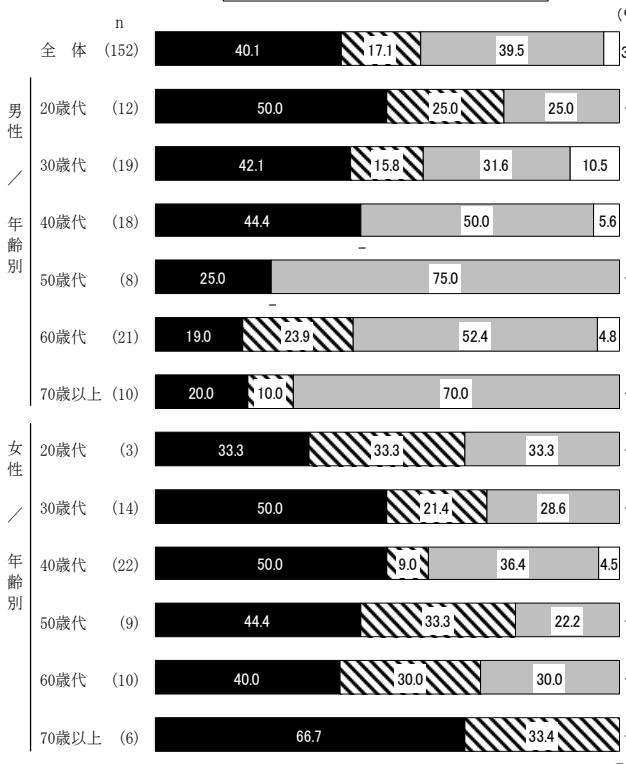
## 文化教室(カルチャーセンターや語学教室など)

■全て市内 □一部市内 ▨全て市外 □無回答



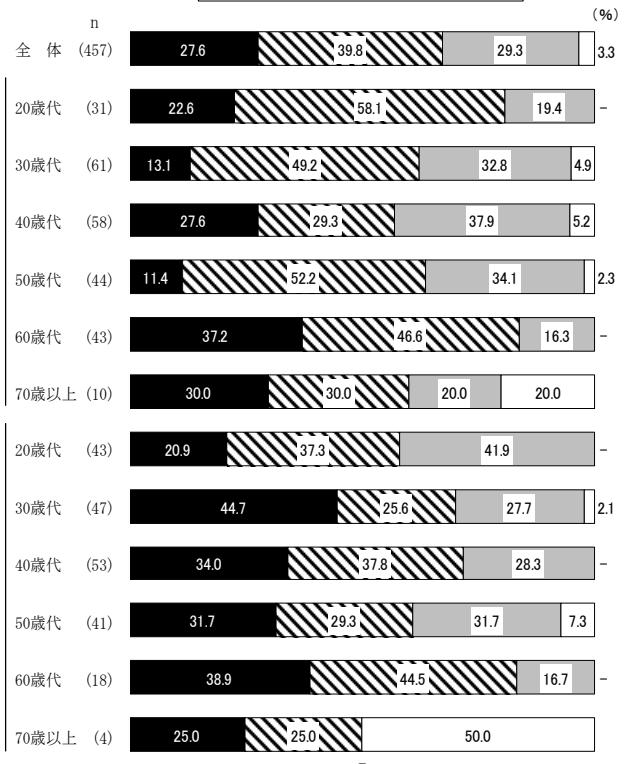
## スポーツ施設(テニス場やプール、ゴルフ場など。スポーツ教室を除く)

■全て市内 □一部市内 ▨全て市外 □無回答



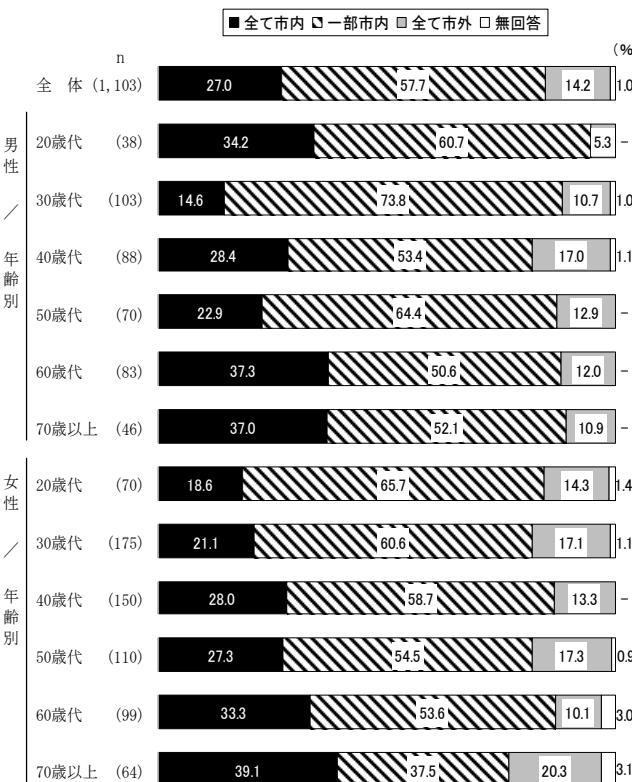
## 居酒屋、バー、ビヤホール

■全て市内 □一部市内 ▨全て市外 □無回答

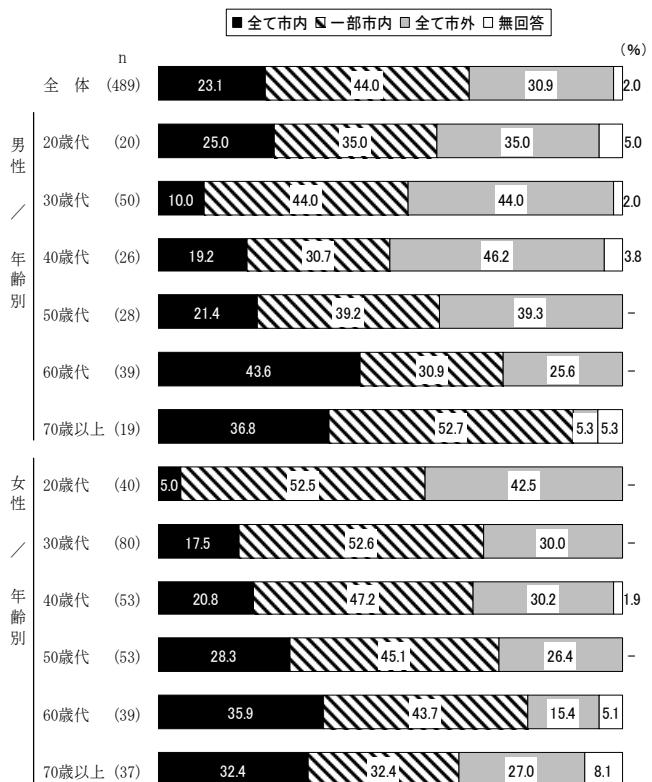


(第1回アンケート)

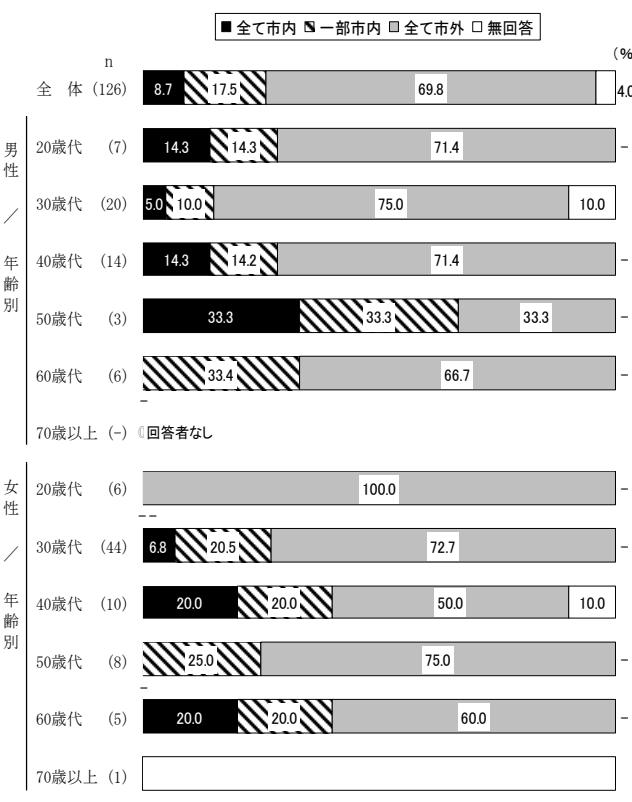
レストラン、飲食店(喫茶店、居酒屋、バー、ビヤホールを除く)



喫茶店



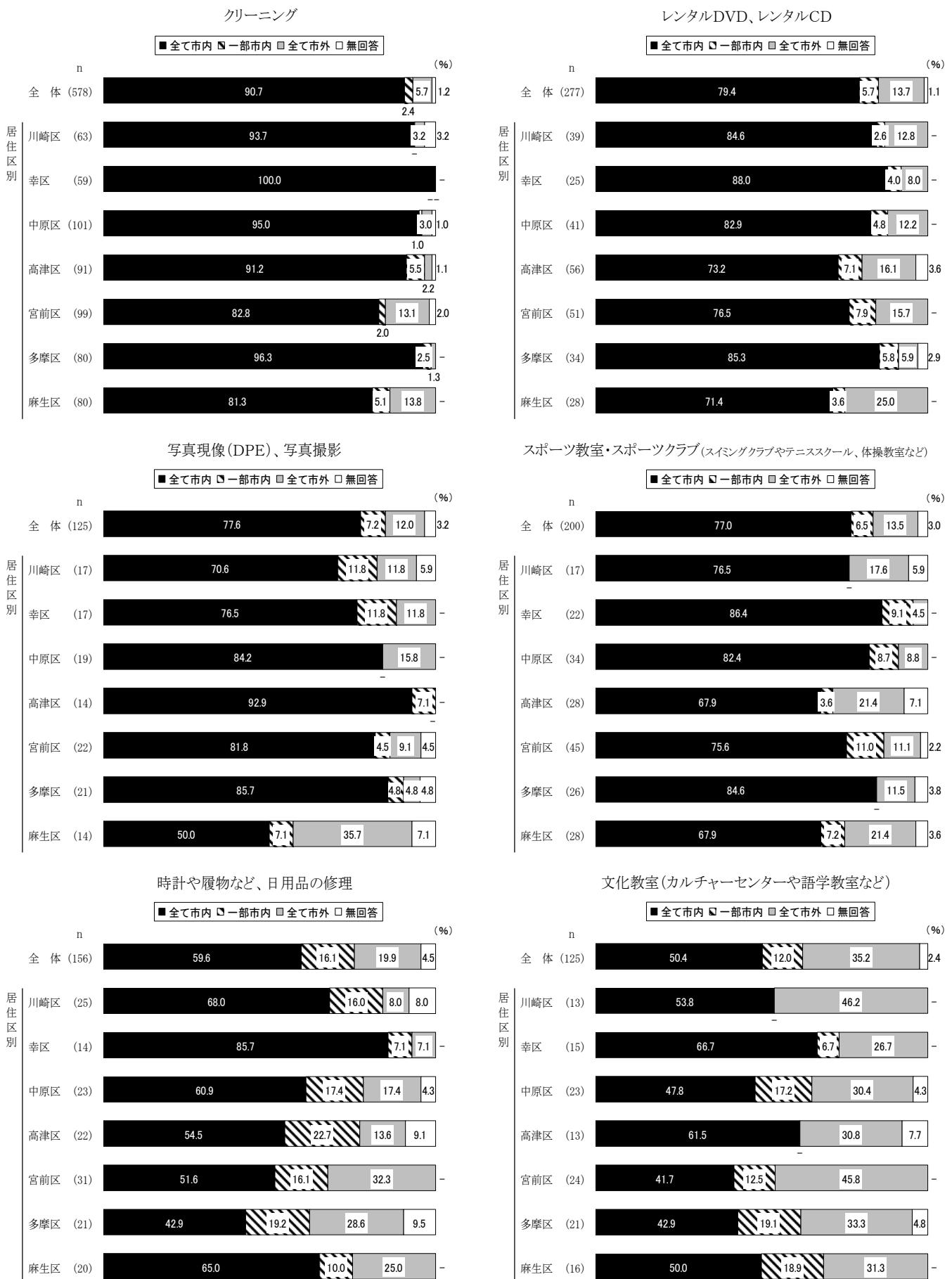
遊園地、有料の公園



性／年齢別では、「クリーニング」は、『全て市内』が男女ともに全年代で8割台半ば以上と多くなっている。「レストラン、飲食店」は、『全て市内』が、男性では30歳代(14.6%)で最も少なくなっている。女性では、年齢が高くなるにつれ割合が多くなる傾向となっている。(図表5-5)

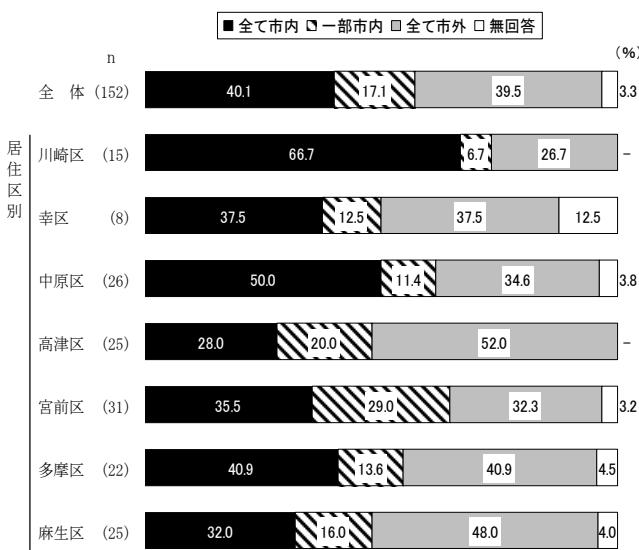
図表5-6 1か月間の市内での消費割合（居住区分別）

※グラフでは、「8割以上が市内」から「2割までが市内」を「一部市内」としている。

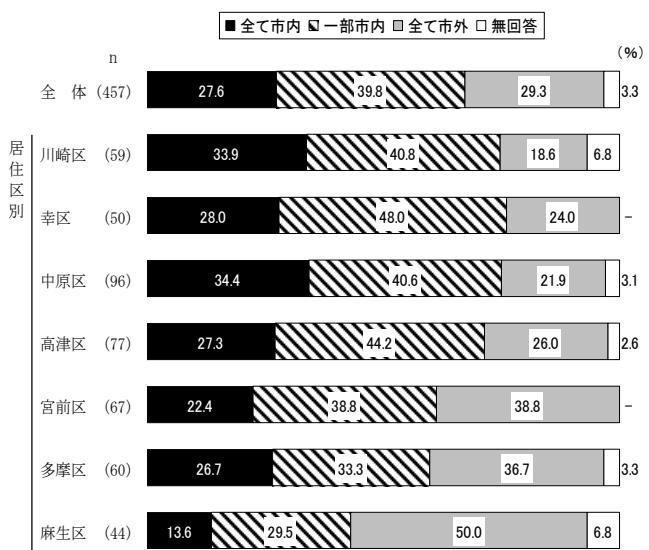


(第1回アンケート)

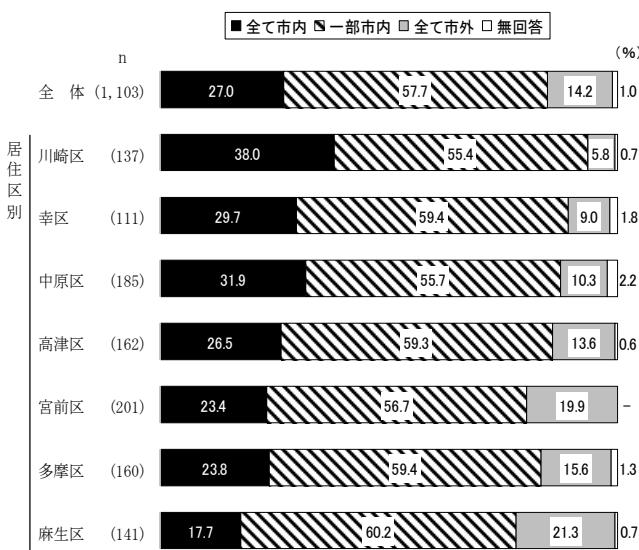
スポーツ施設(テニス場やプール、ゴルフ場など。スポーツ教室を除く)



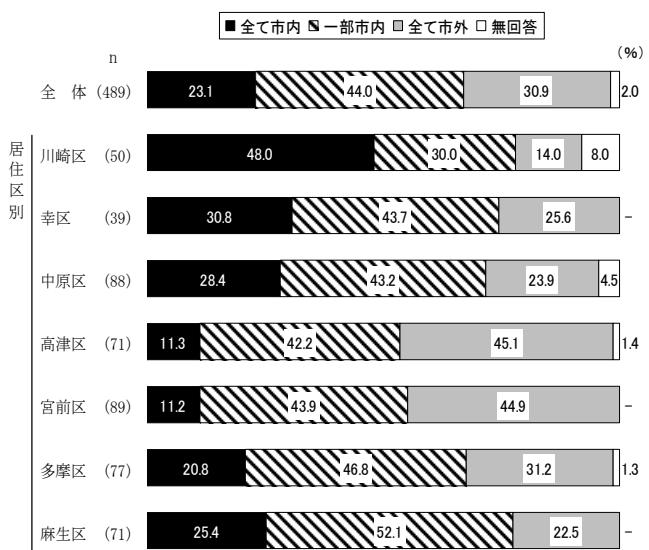
居酒屋、バー、ビヤホール



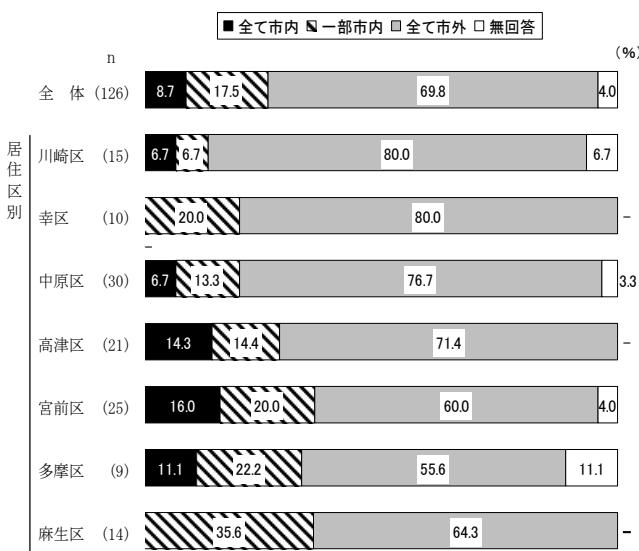
レストラン、飲食店(喫茶店、居酒屋、バー、ビヤホールを除く)



喫茶店



遊園地、有料の公園



居住区別では、「クリーニング」は、『全て市内』が幸区（100.0%）で最も多く、麻生区（81.3%）で最も少なくなっている。「居酒屋、バー、ビヤホール」は、『全て市内』が中原区（34.4%）、川崎区（33.9%）で多くなっており、麻生区（13.6%）で最も少なくなっている。「レストラン、飲食店」は、『全て市内』が川崎区（38.0%）で最も多く、麻生区（17.7%）で最も少なくなっている。「喫茶店」は、『全て市内』が川崎区（48.0%）で最も多く、宮前区（11.2%）、高津区（11.3%）で少なくなっている。（図表5-6）

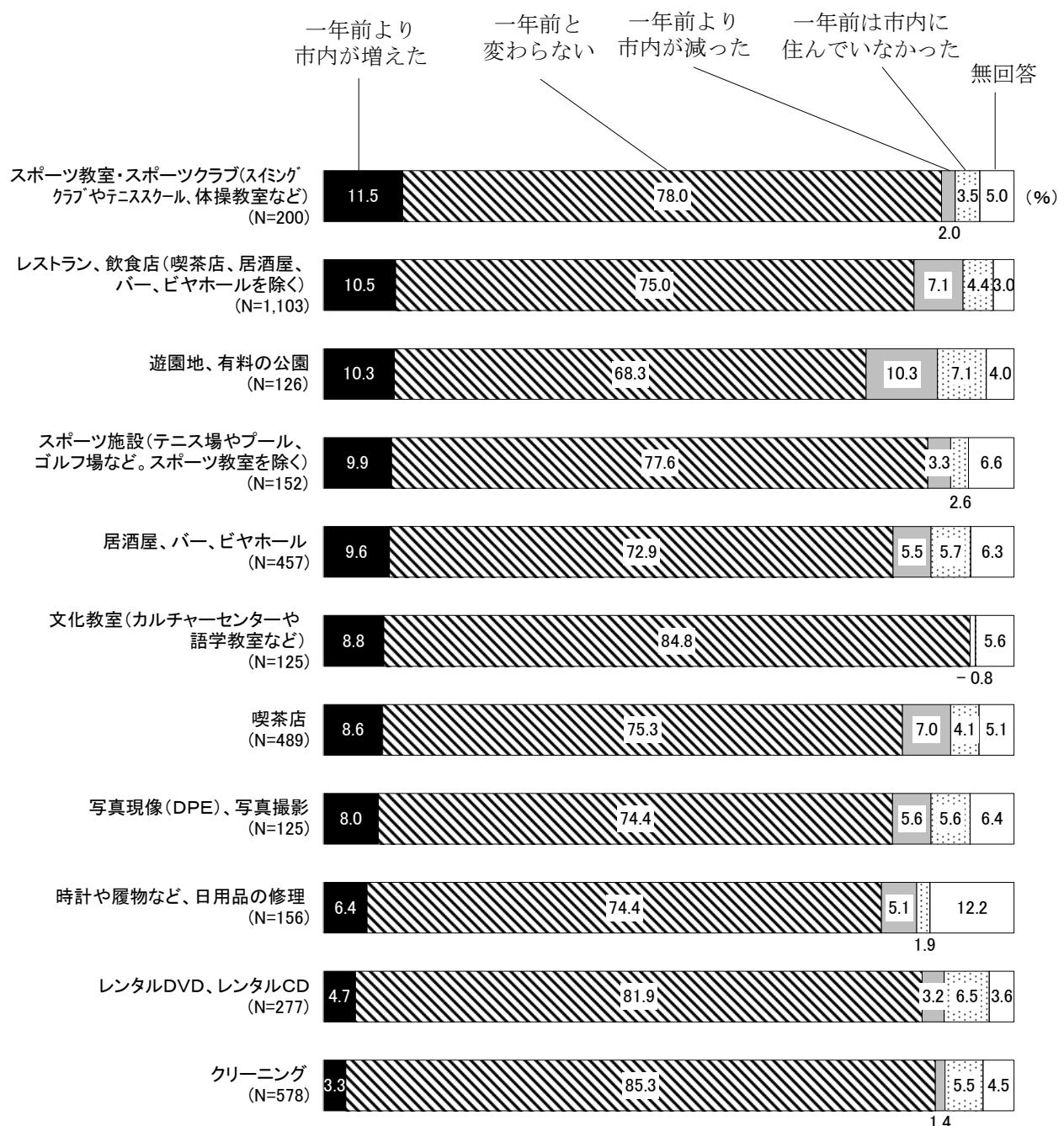
## 5－3 1か月間の市内での消費状況の1年前との変化

◎『1年前より市内が増えた』「スポーツ教室・スポーツクラブ」が11.5%で最も多い

問17－1 問17で、この1か月間にサービスや物を有料で消費（利用、購入など）した項目についてうかがいます。（問17で○をつけた項目についてうかがいます。）

- B. 1年前と比べて川崎市内での消費に変化はありましたか。  
1～4のあてはまる番号をお選びください。（○はそれぞれ1つずつ）

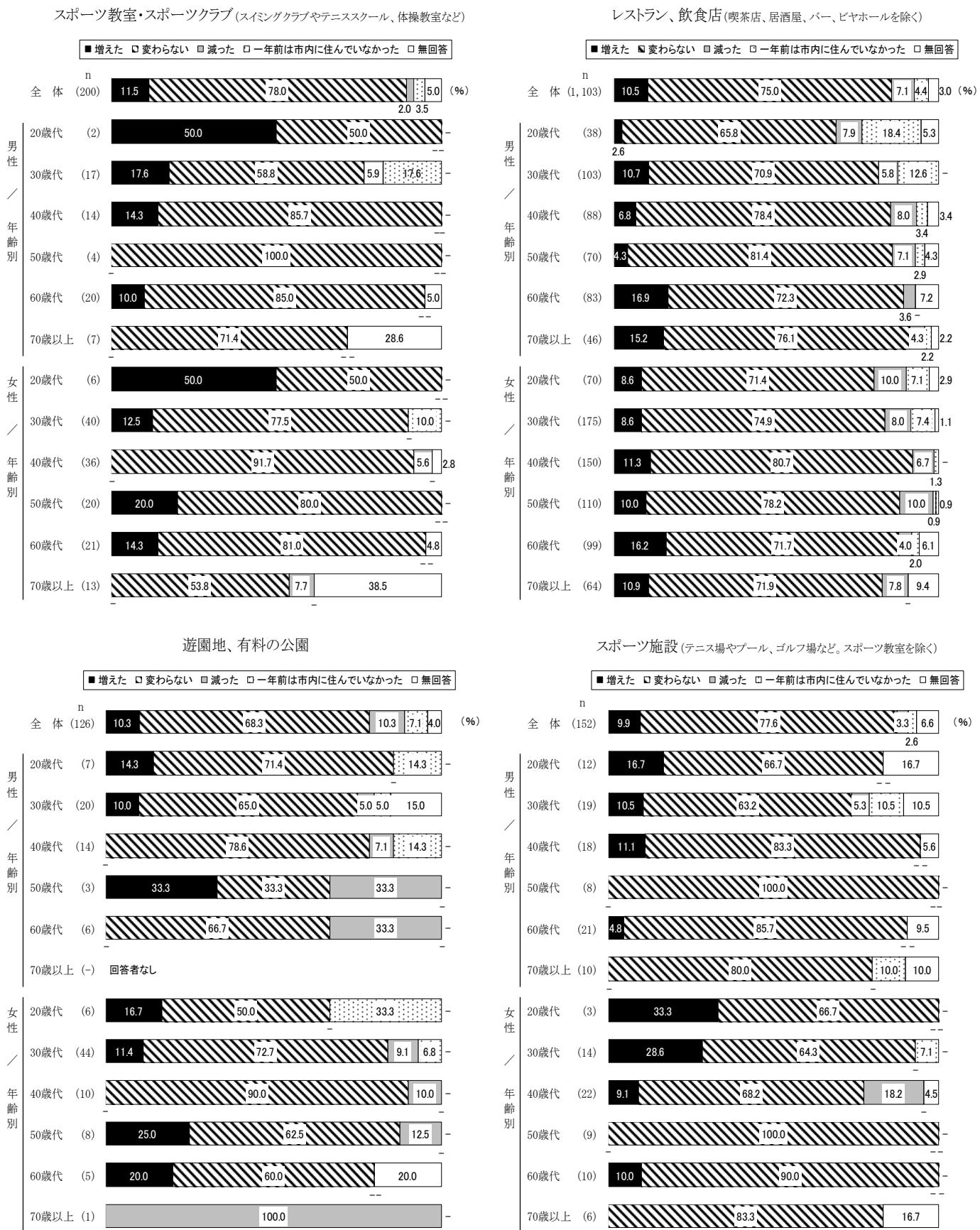
図表5－7 1か月間の市内での消費状況の1年前との変化



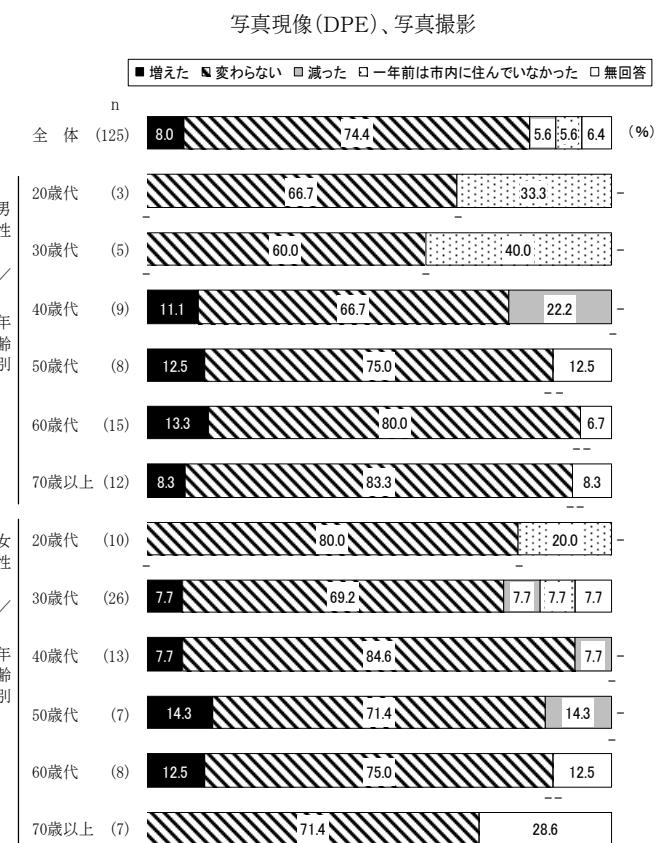
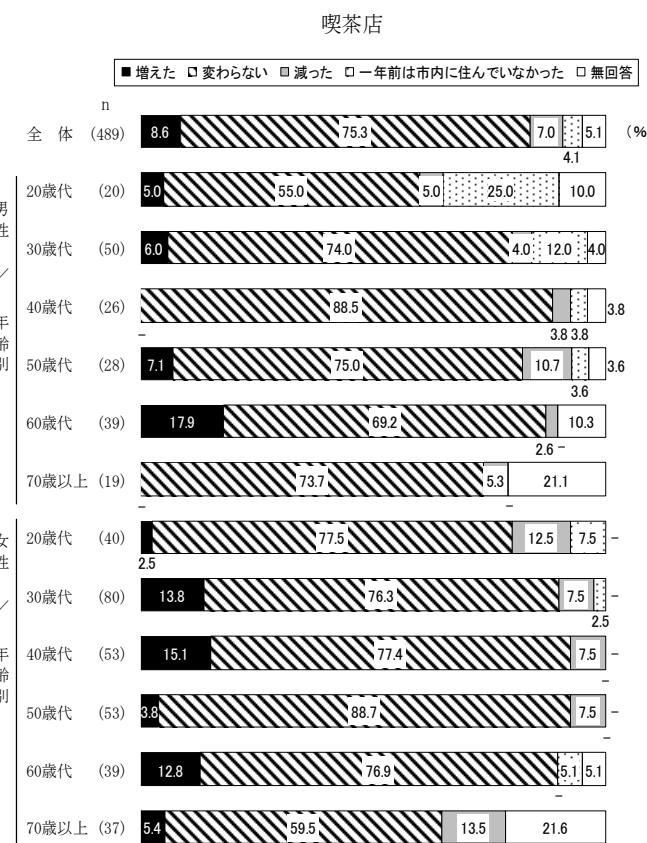
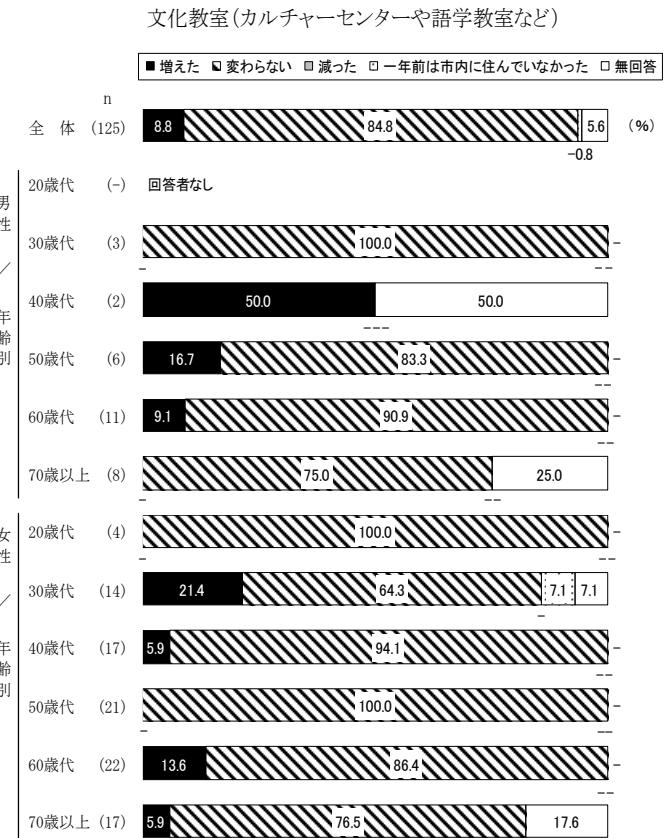
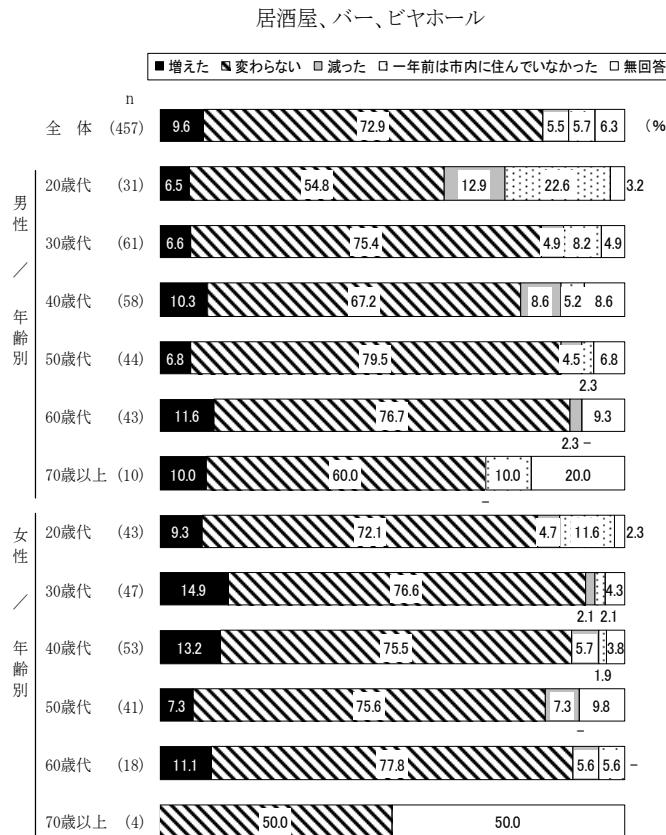
(第1回アンケート)

1か月間の市内での消費状況の1年前との変化については、『1年前より市内が増えた』は、「スポーツ教室・スポーツクラブ」(11.5%)が最も多く、次いで「レストラン、飲食店」(10.5%)、「遊園地、有料の公園」(10.3%)の順となっている。一方、『1年前より市内が減った』は、「遊園地、有料の公園」(10.3%)が最も多く、次いで「レストラン、飲食店」(7.1%)、「喫茶店」(7.0%)の順となっている。(図表5-7)

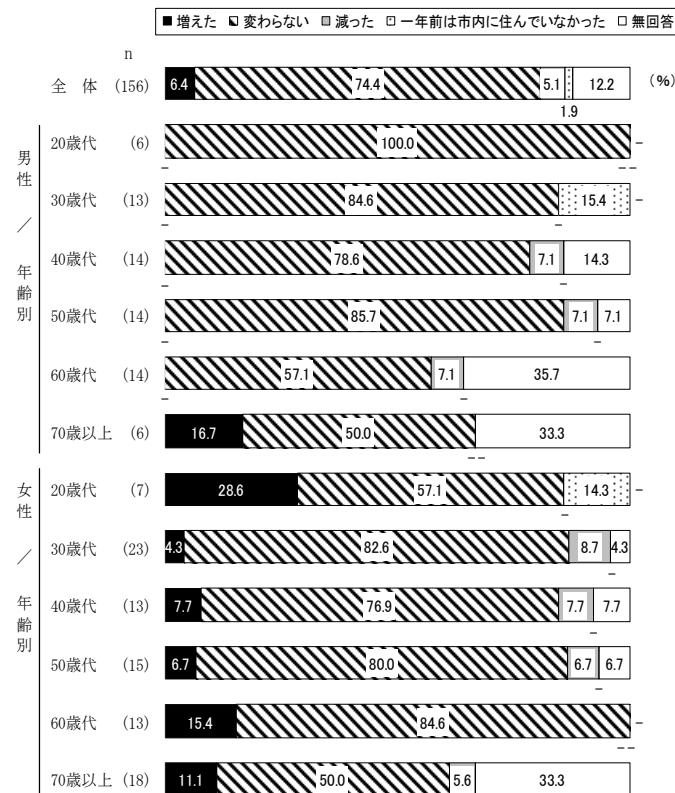
図表5-8 1か月間の市内での消費状況の1年前との変化(性別/年齢別)



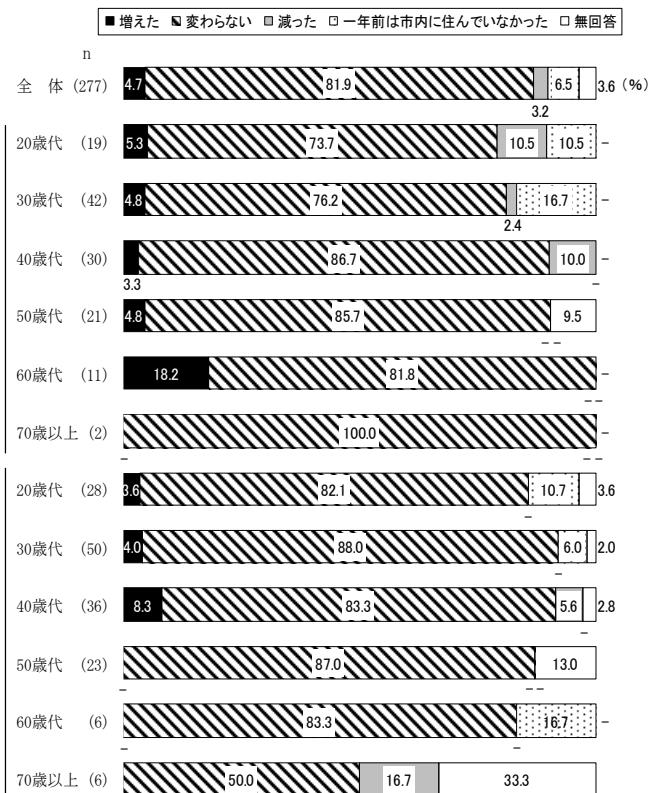
### (第1回アンケート)



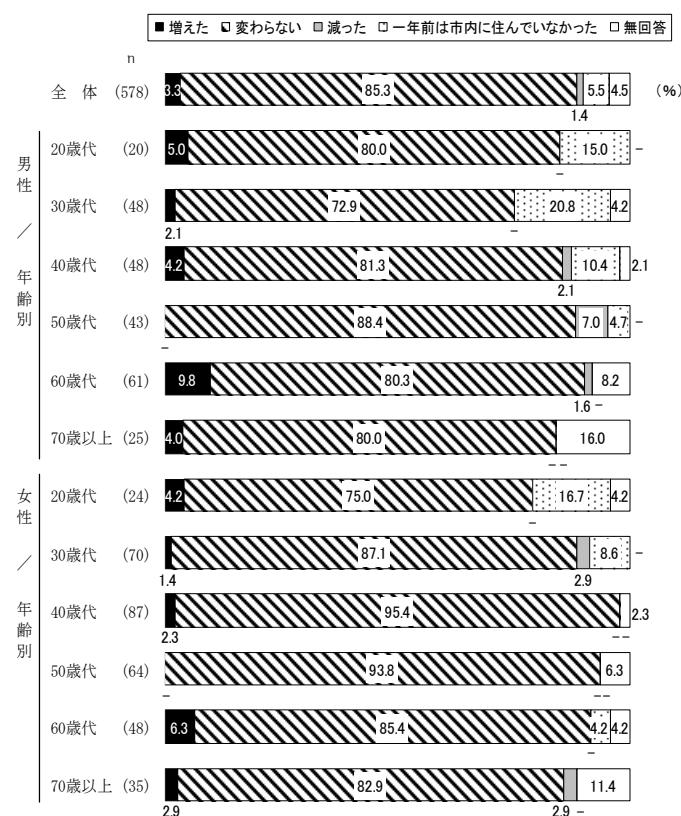
## 時計や履物など、日用品の修理



## レンタルDVD、レンタルCD



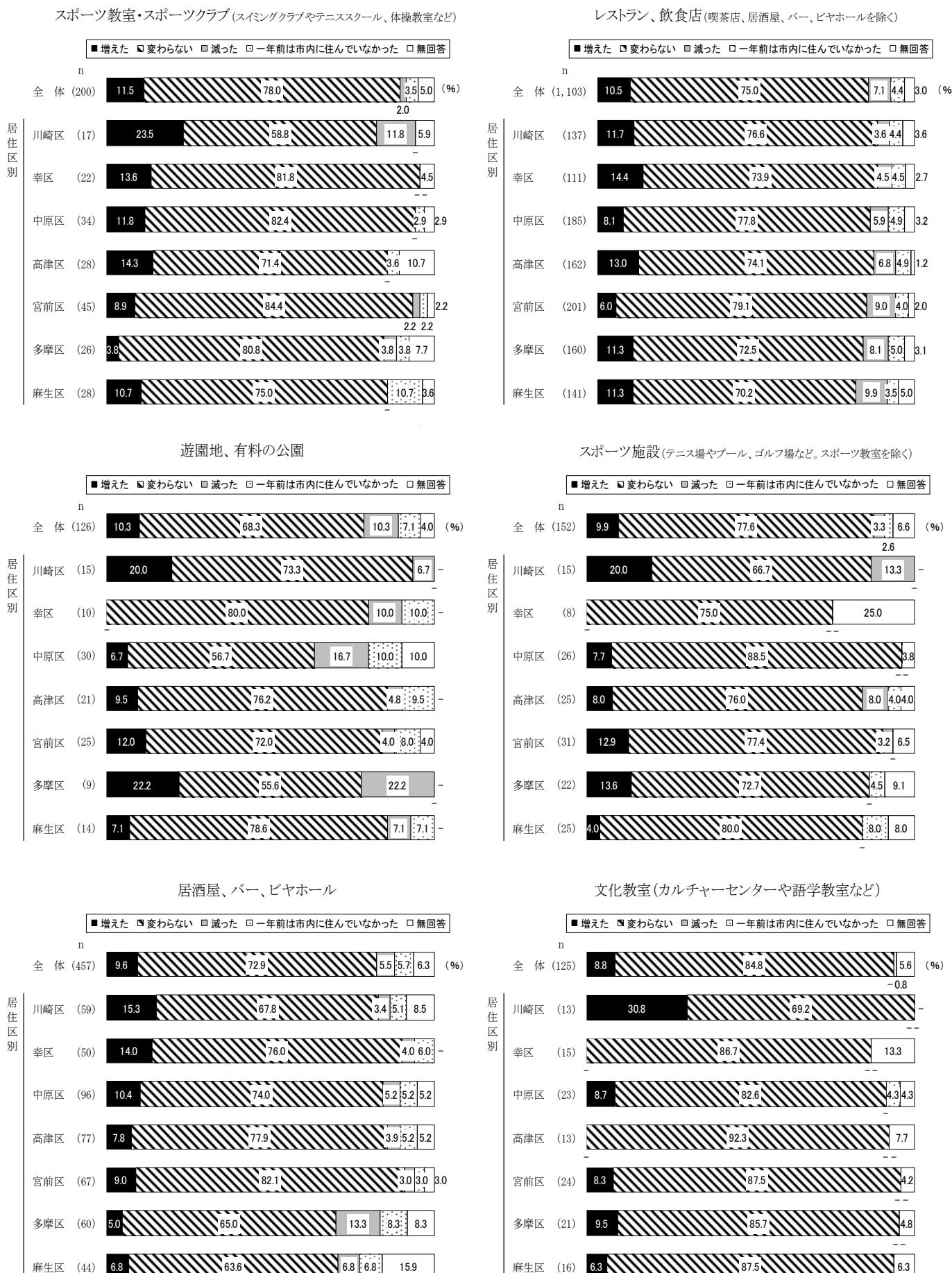
## クリーニング

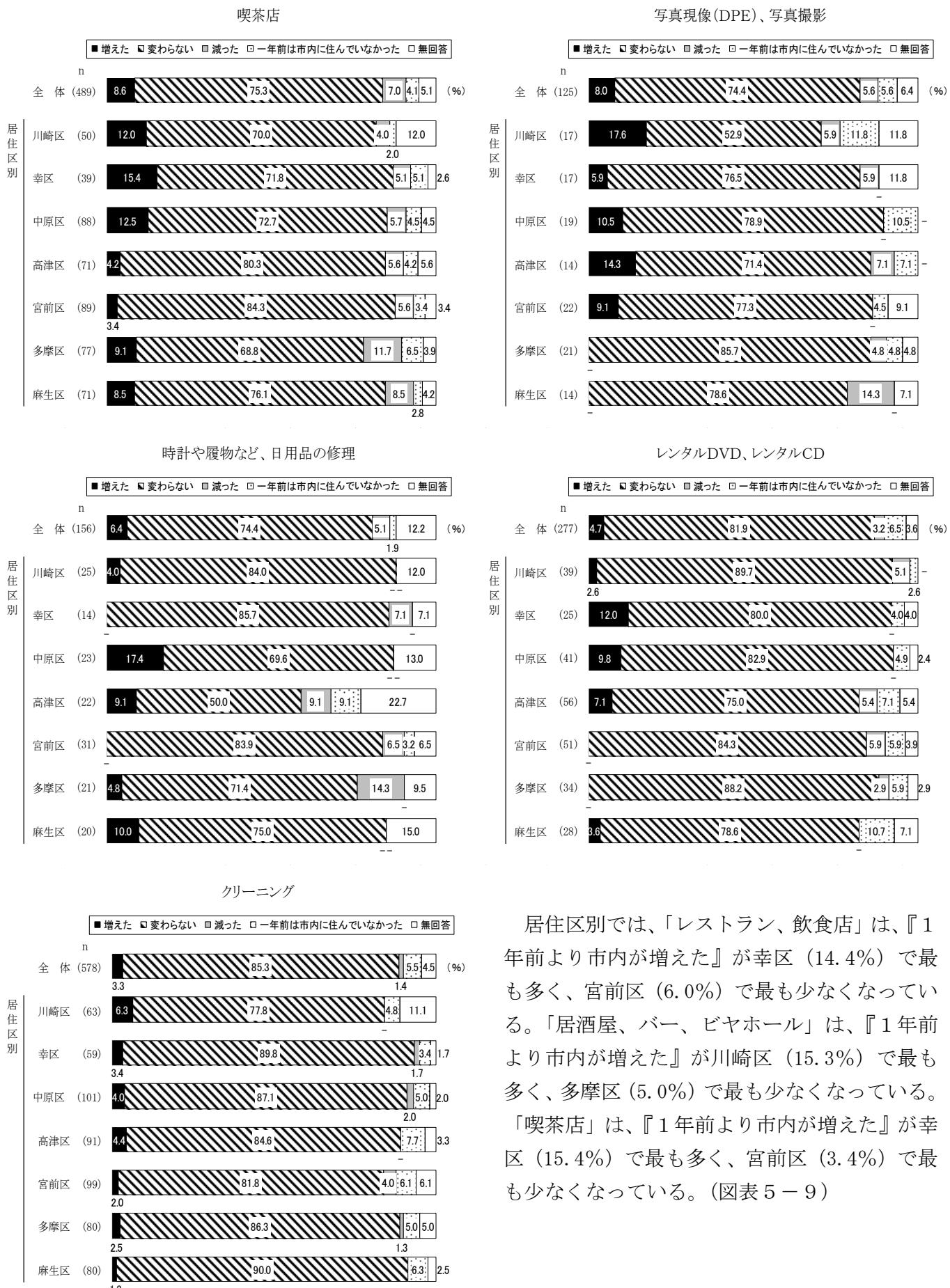


性／年齢別では、「レストラン、飲食店」は、『1年前より市内が増えた』が男性では60歳代(16.9%)、70歳以上(15.2%)が多くなっている。女性では60歳代(16.2%)が最も多くなっている。「クリーニング」は、『1年前より市内が増えた』が男女ともに60歳代(男性:9.8%、女性:6.3%)が最も多くなっている。(図表5-8)

(第1回アンケート)

図表5-9 1か月間の市内での消費状況の1年前との変化（居住区別）





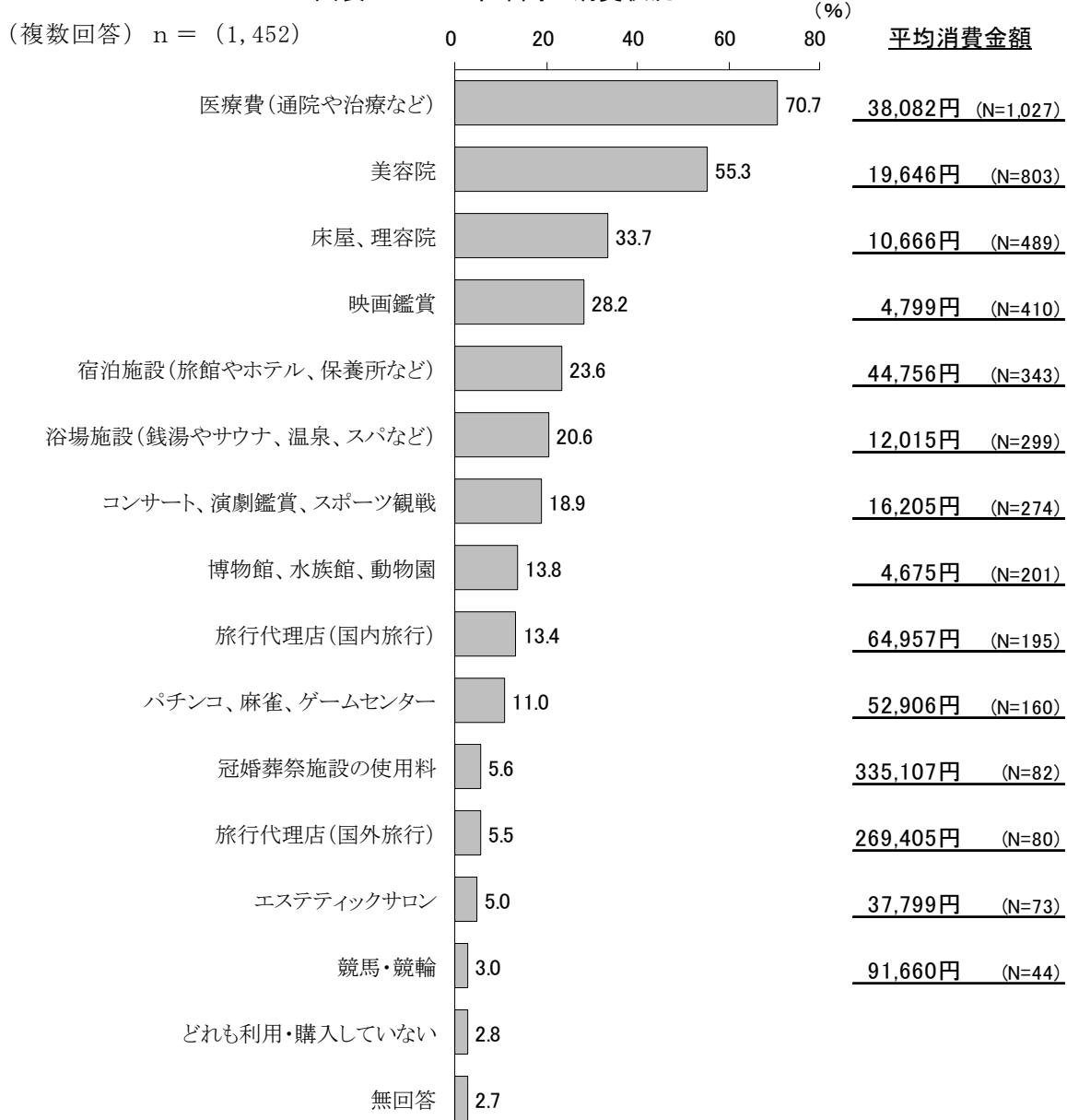
居住区別では、「レストラン、飲食店」は、『1年前より市内が増えた』が幸区（14.4%）で最も多く、宮前区（6.0%）で最も少なくなっている。「居酒屋、バー、ビヤホール」は、『1年前より市内が増えた』が川崎区（15.3%）で最も多く、多摩区（5.0%）で最も少くなっている。「喫茶店」は、『1年前より市内が増えた』が幸区（15.4%）で最も多く、宮前区（3.4%）で最も少なくなっている。（図表5-9）

## 5－4 半年間の消費状況について

◎「医療費（通院や治療など）」が70.7%

問18 あなたは、この半年間に次のサービスや物（有料のもの）をいくらくらい消費（利用、購入など）しましたか。消費したものの番号（1～15）に○をつけてください。（あてはまるものすべてに○）  
また、いくらくらい消費したか、概算金額をご記入ください。  
※あなたご自身（1人当たり）の金額をお答えください。

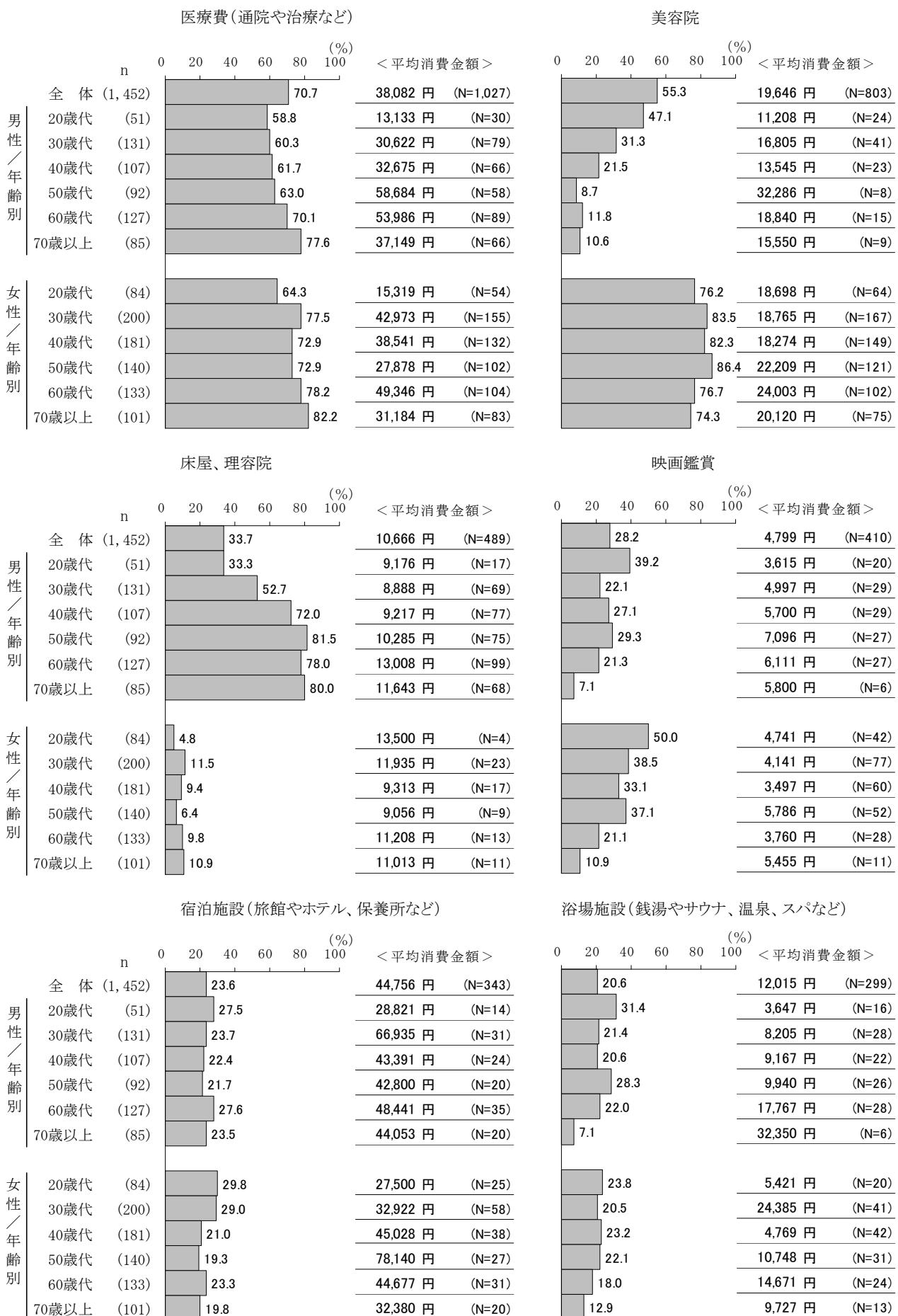
図表5－10 半年間の消費状況



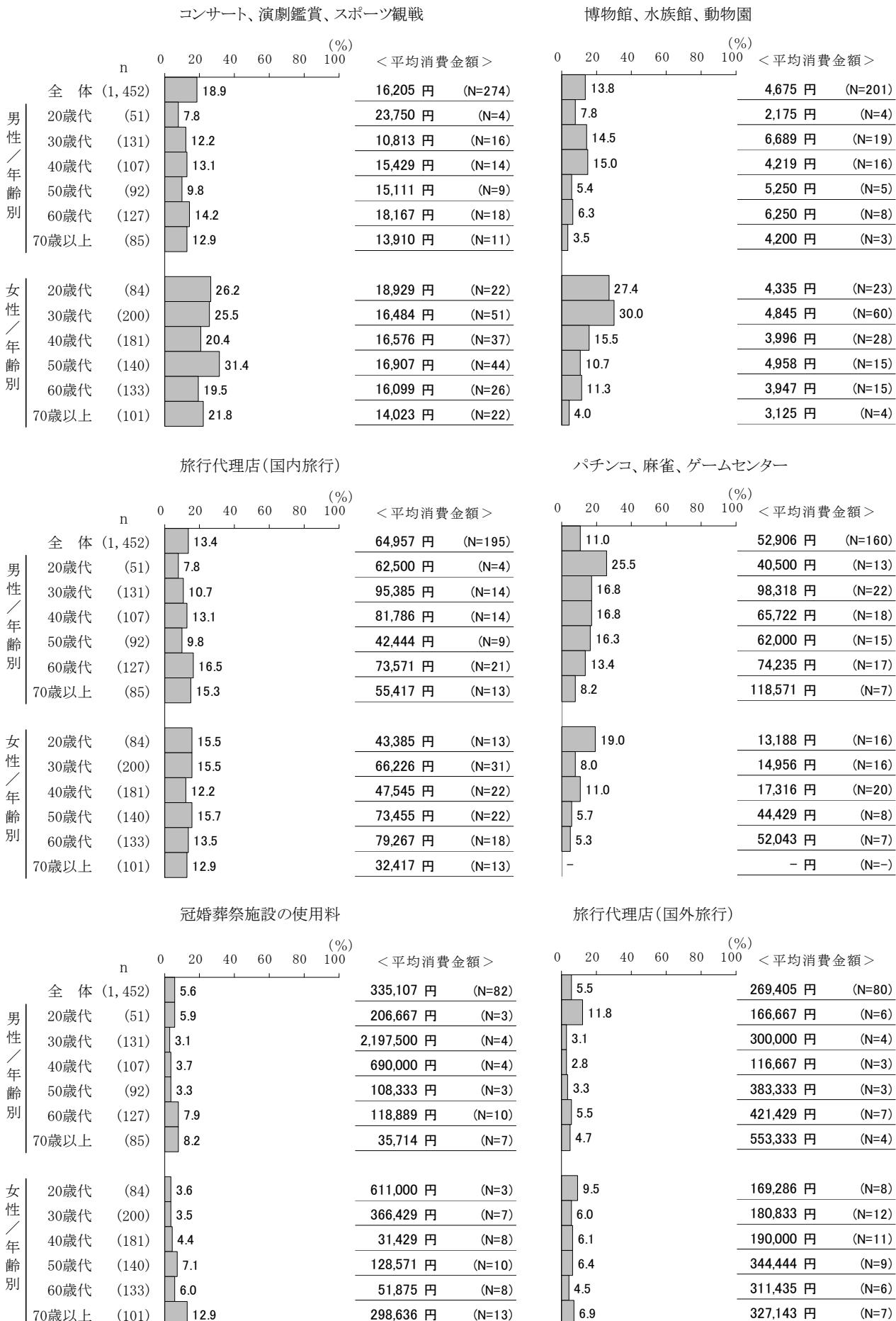
半年間の消費状況については、「医療費（通院や治療など）」(70.7%) が最も多く、次いで「美容院」(55.3%)、「床屋、理容院」(33.7%) の順となっている。

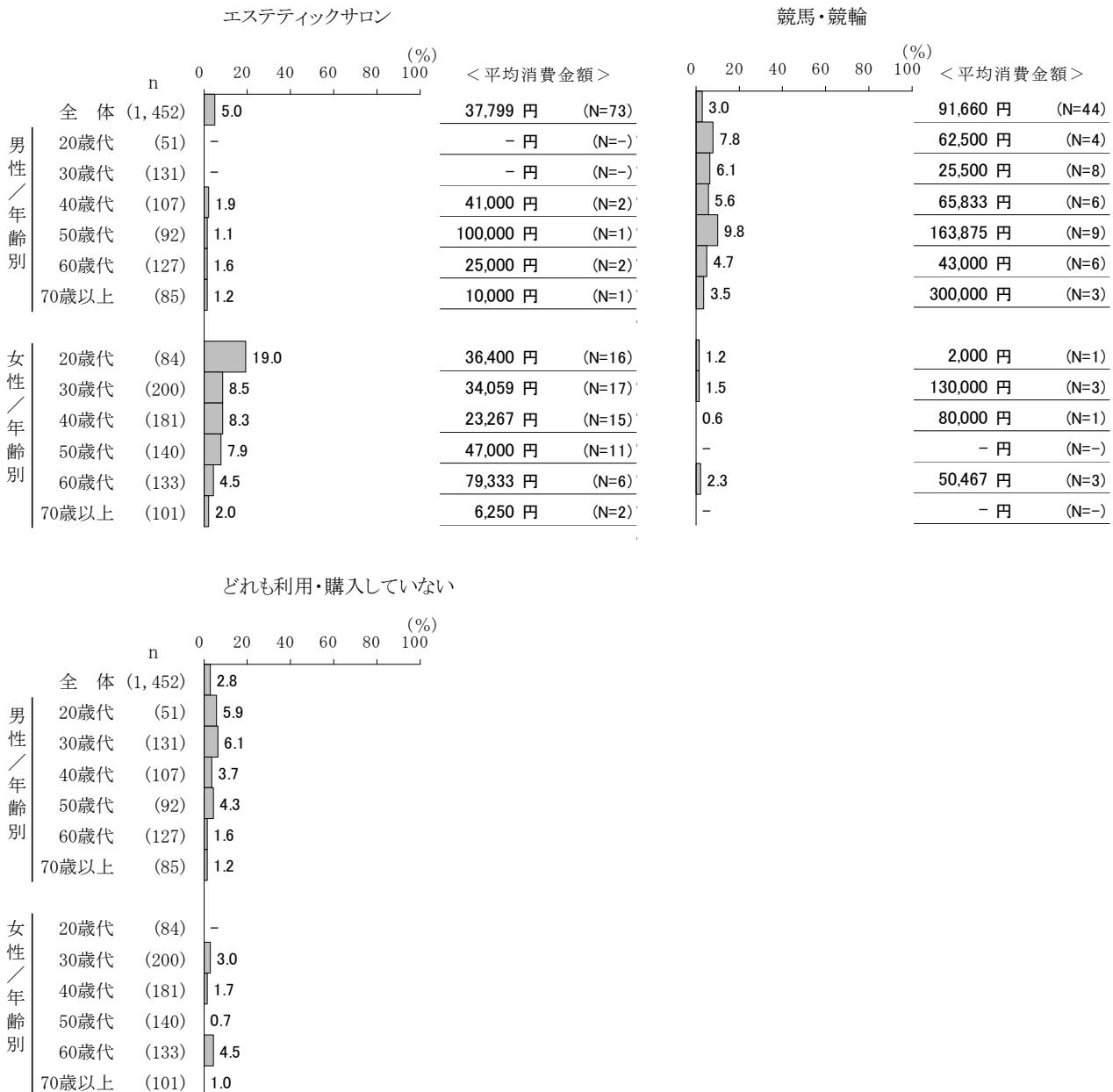
平均消費金額は、「冠婚葬祭施設の使用料」(335,107円) が最も多く、次いで「旅行代理店（国外旅行）」(269,405円)、「競馬・競輪」(91,660円) の順となっている。(図表5－10)

図表5-11 半年間の消費状況(性別/年齢別)



(第1回アンケート)



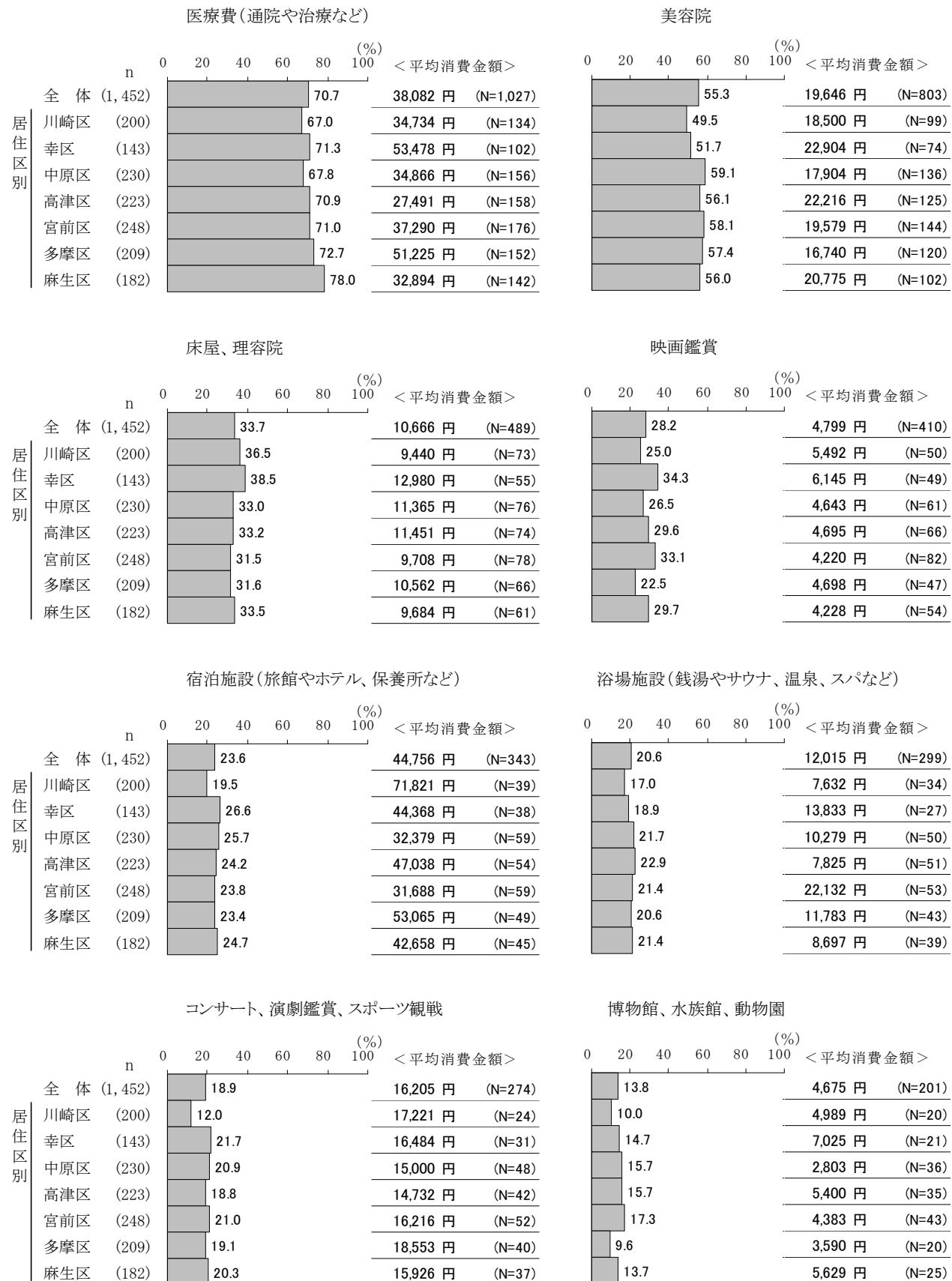


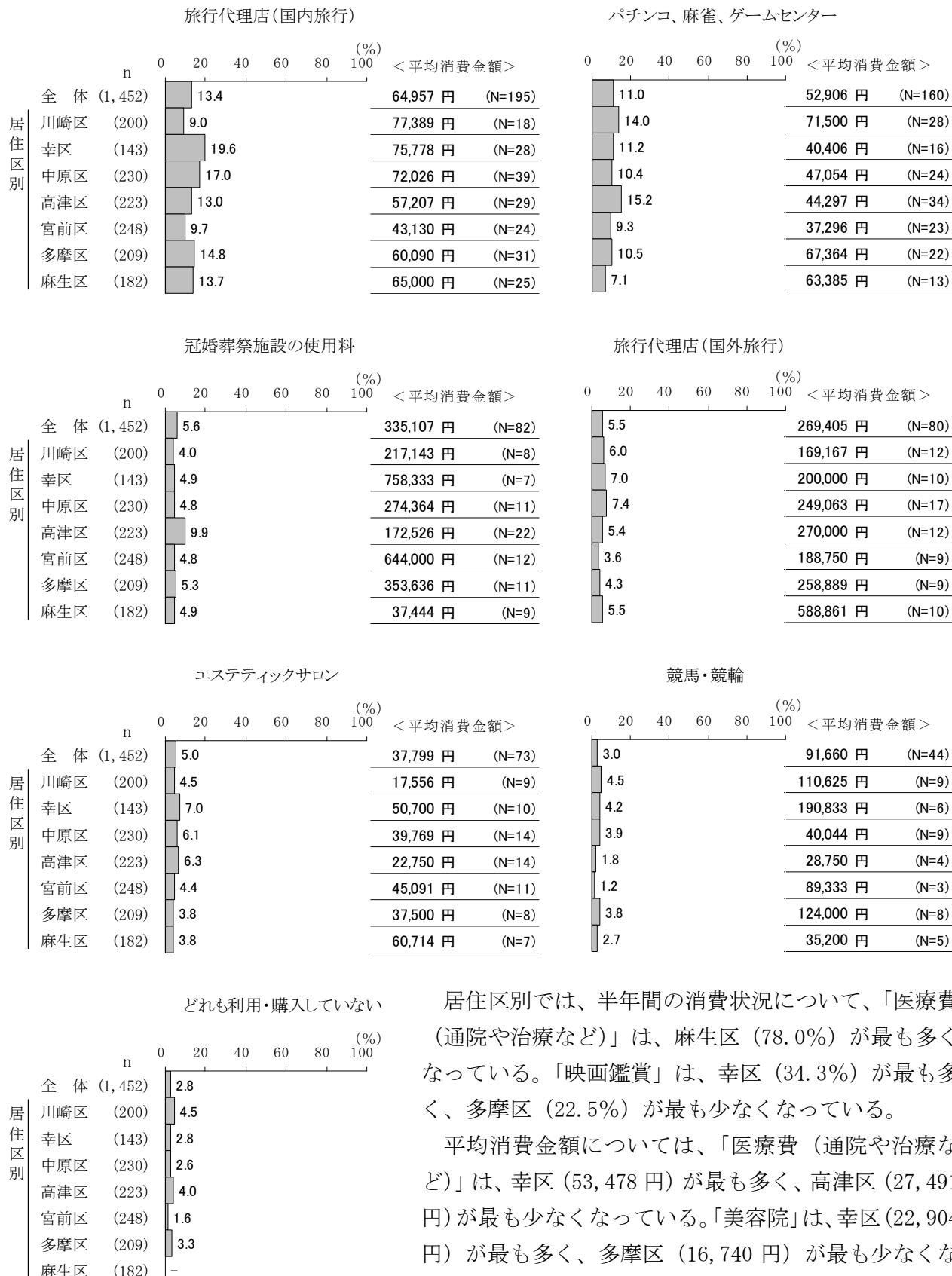
性／年齢別では、半年間の消費状況について、「医療費（通院や治療など）」は、男女ともにおおむね年齢が高くなるにつれ割合が多くなる傾向となっているが、女性では30歳代（77.5%）が40歳代（72.9%）、50歳代（72.9%）よりも多くなっている。「美容院」は、男性では20歳代（47.1%）が最も多くなっており、おおむね年齢が高くなるにつれ割合が少なくなる傾向となっている。女性では、全年代で7割台から8割台となっている。「床屋、理容院」は、男性ではおおむね年齢が高くなるにつれ割合が多くなる傾向となっている。

平均消費金額については、「医療費（通院や治療など）」は、男性では50歳代（58,684円）が最も多く、女性では60歳代（49,346円）が最も多くなっている。「美容院」は、女性では60歳代（24,003円）が最も多くなっている。「床屋、理容院」は、男性では60歳代（13,008円）が最も多くなっている。（図表5-11）

(第1回アンケート)

図表5-12 半年間の消費状況（居住区別）





居住区別では、半年間の消費状況について、「医療費（通院や治療など）」は、麻生区（78.0%）が最も多くなっている。「映画鑑賞」は、幸区（34.3%）が最も多く、多摩区（22.5%）が最も少なくなっている。平均消費金額については、「医療費（通院や治療など）」は、幸区（53,478円）が最も多く、高津区（27,491円）が最も少なくなっている。「美容院」は、幸区（22,904円）が最も多く、多摩区（16,740円）が最も少なくなっている。「映画鑑賞」は、幸区（6,145円）が最も多くなっている。（図表5-12）

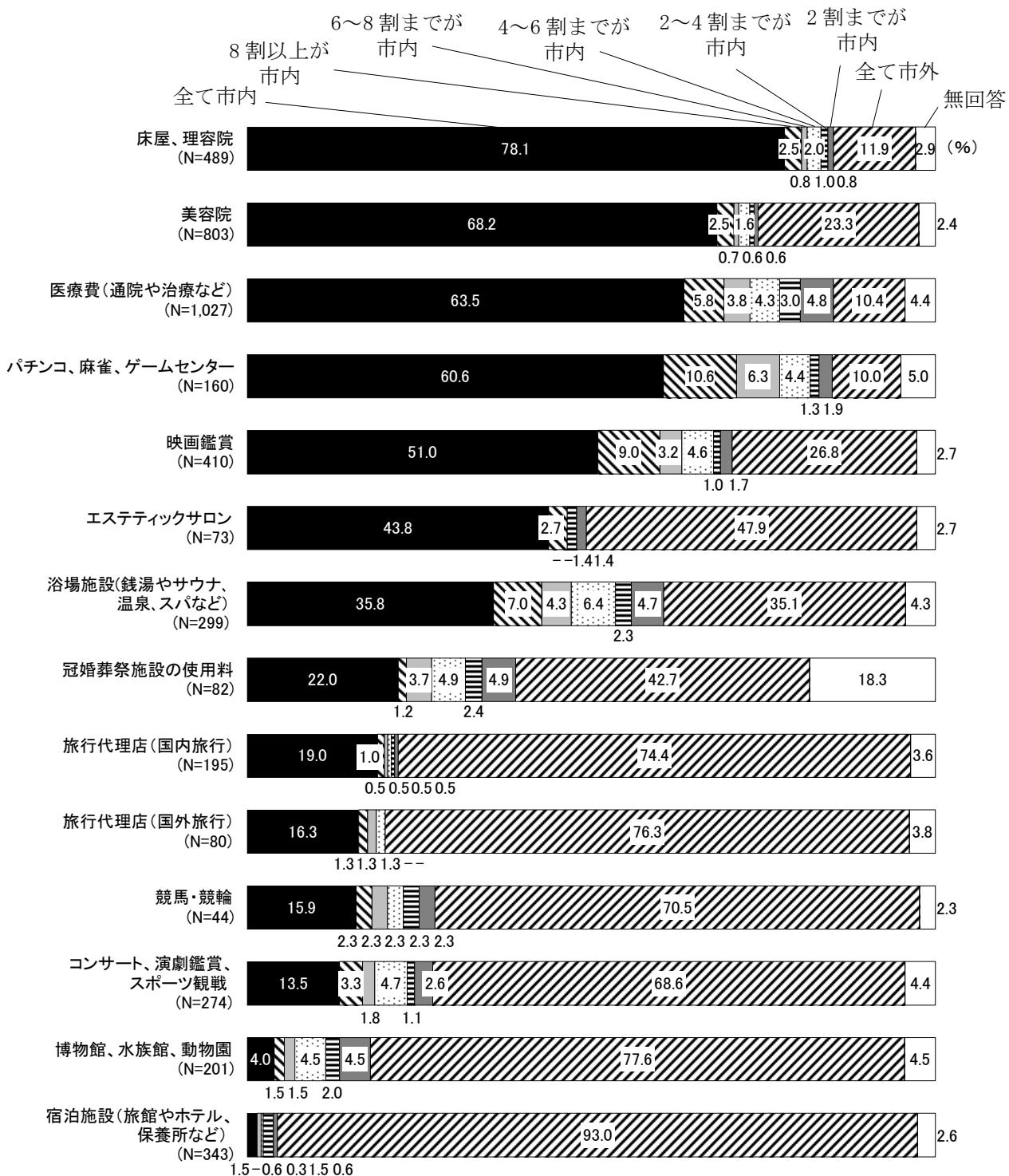
## 5－5 半年間の市内での消費割合

◎『全て市内』で消費 「床屋、理容院」が78.1%

問18－1 問18で、この半年間にサービスや物を有料で消費（利用、購入など）した項目についてうかがいます。（問18で○をつけた項目についてうかがいます。）

A. あなたは、この半年間に次のサービスや物を川崎市内で消費（利用、購入など）した割合はどれくらいですか。1～7のあてはまる番号をお選びください。（○はそれぞれ1つずつ）

図表5－13 半年間の市内での消費割合

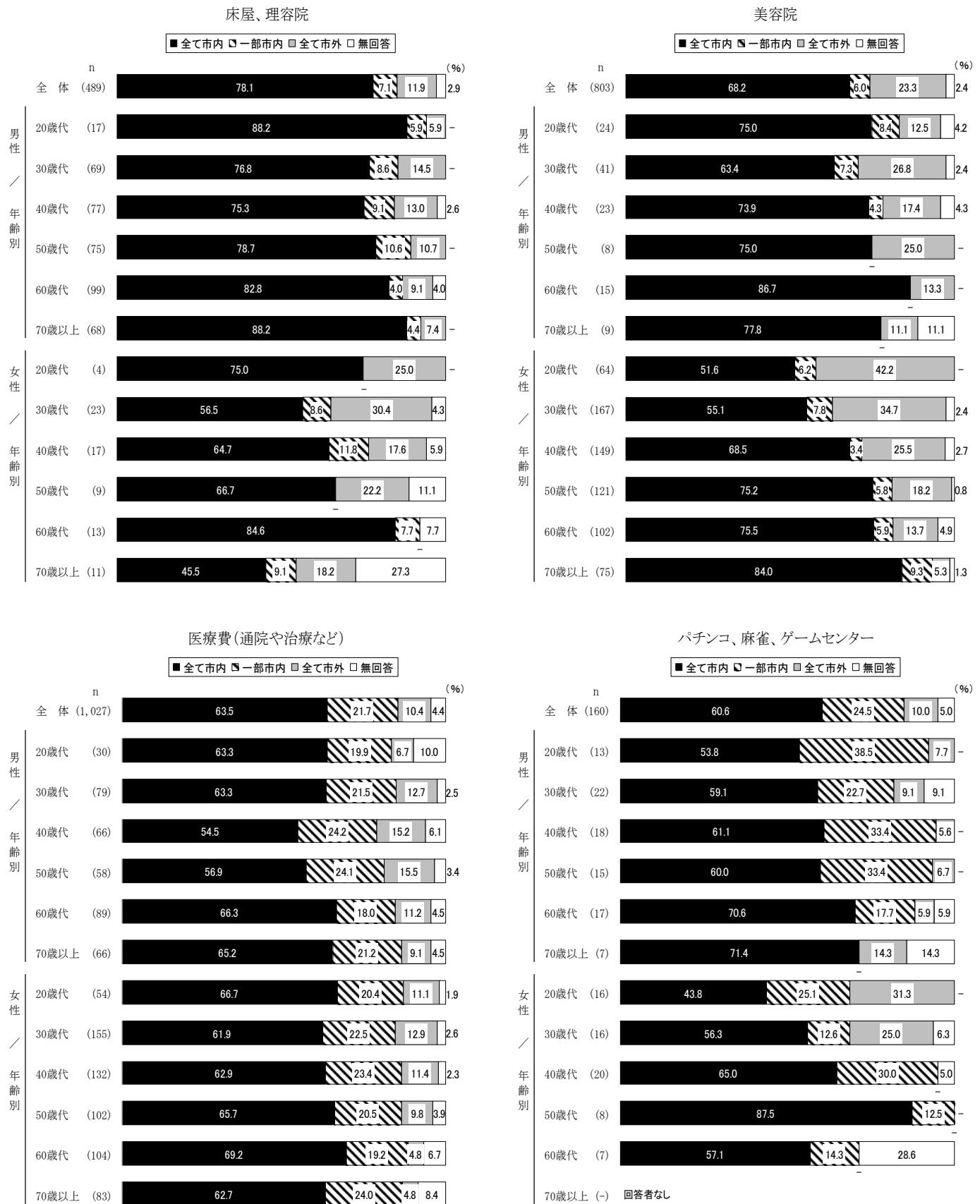


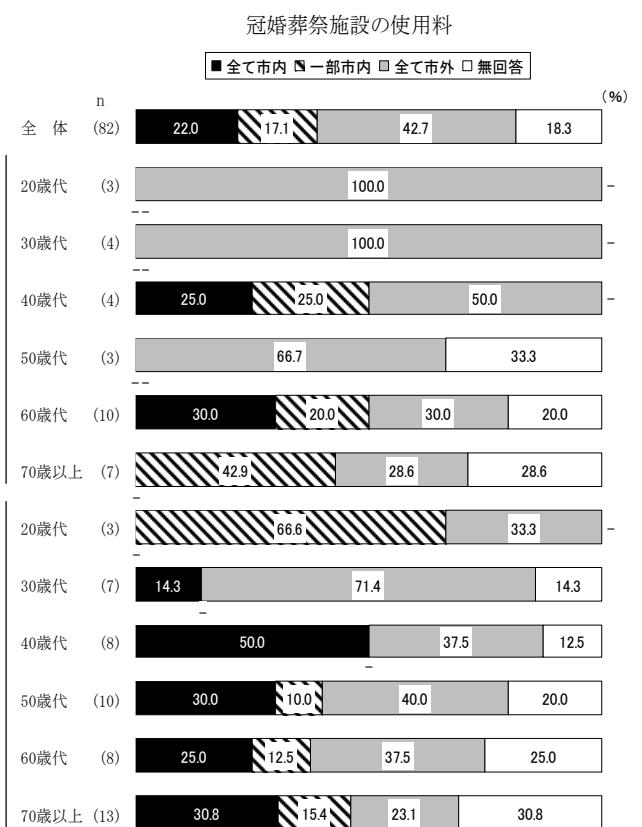
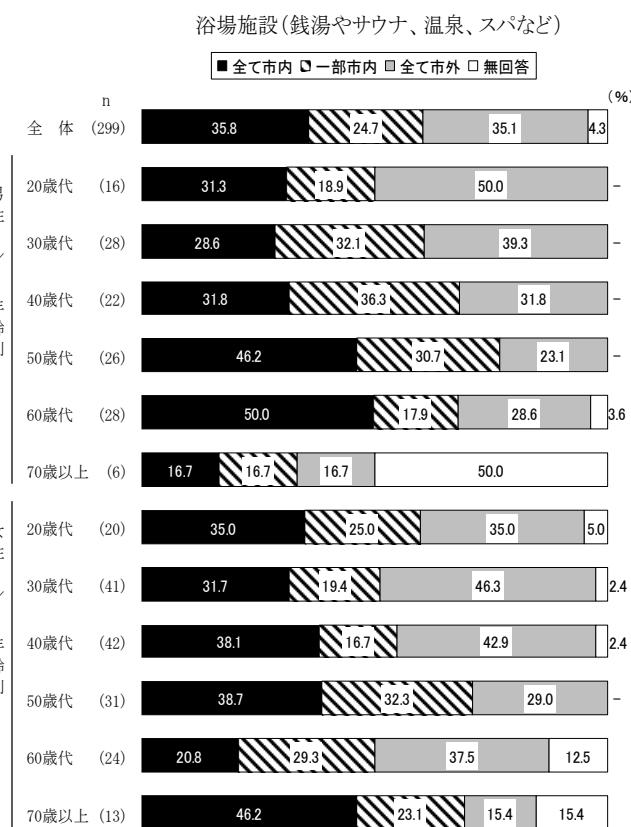
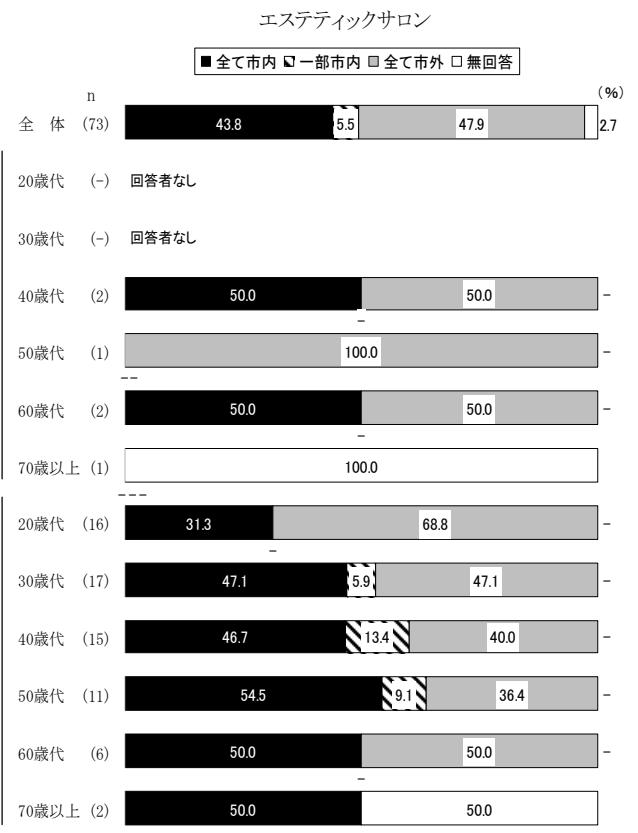
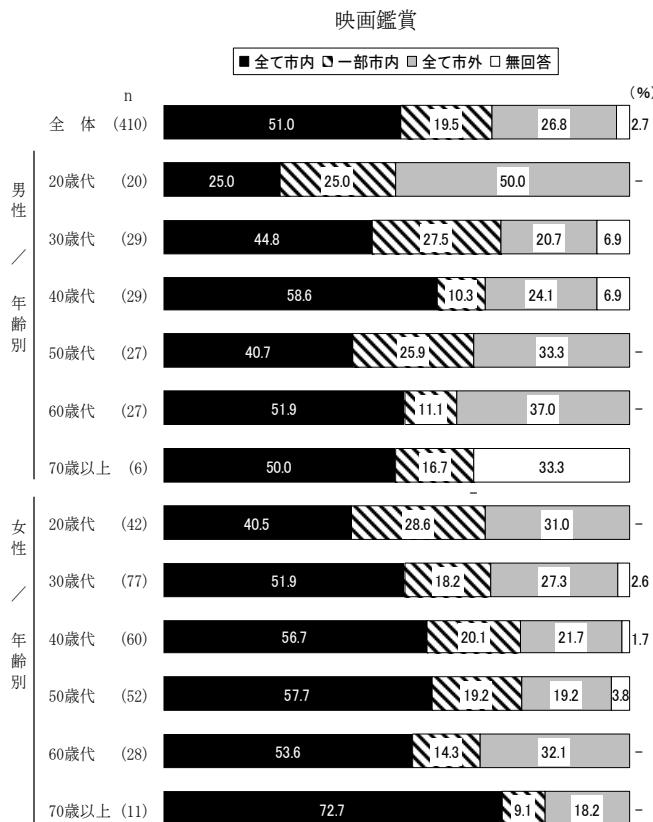
半年間の市内での消費割合については、『全て市内』は、「床屋、理容院」(78.1%)が最も多くなっている。次いで、「美容院」(68.2%)、「医療費（通院や治療など）」(63.5%)、「パチンコ、麻雀、ゲームセンター」(60.6%)の順となっている。一方、『全て市外』は、「宿泊施設（旅館やホテル、保養所など）」(93.0%)が最も多くなっており、次いで、「博物館、水族館、動物園」(77.6%)、「旅行代理店（国外旅行）」(76.3%)の順となっている。(図表5-13)

(第1回アンケート)

図表5-14 半年間の市内での消費割合（性／年齢別）

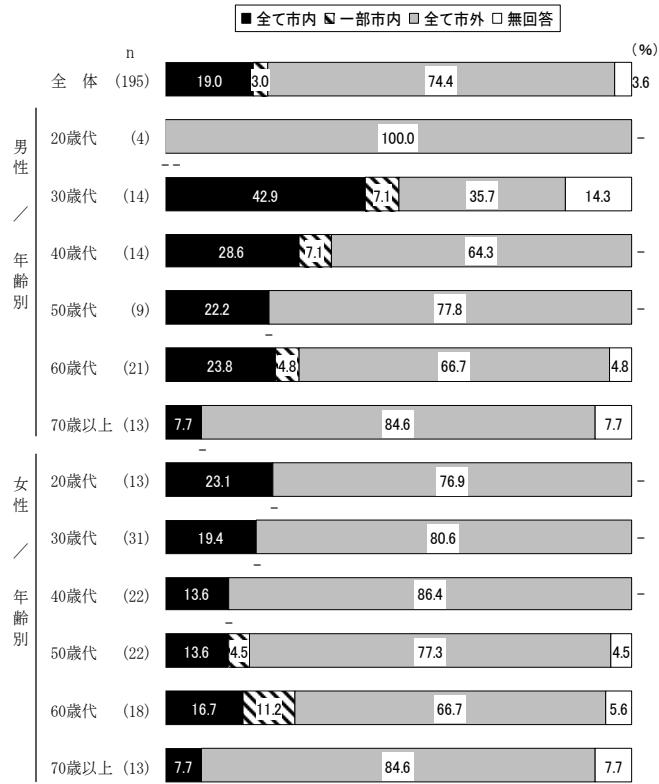
※グラフでは、「8割以上が市内」から「2割までが市内」を「一部市内」としている。



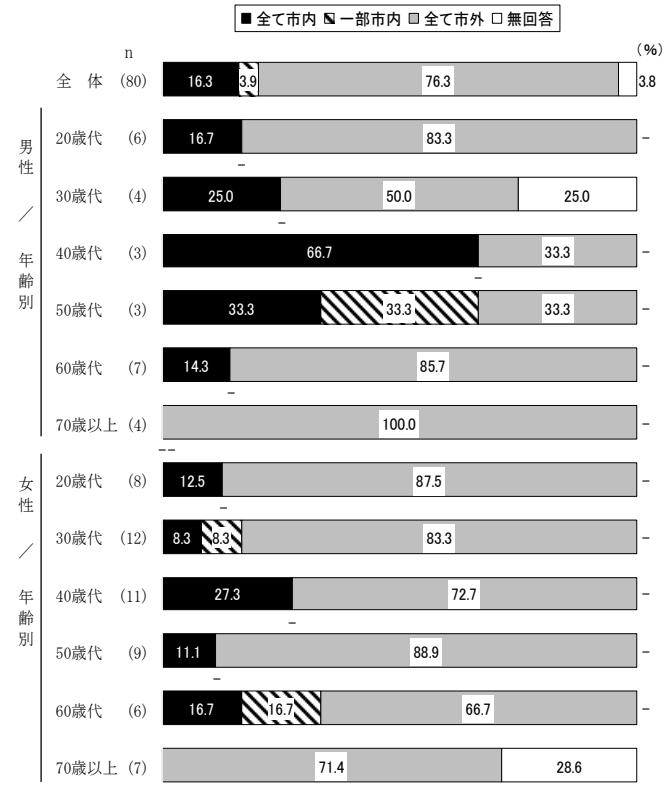


(第1回アンケート)

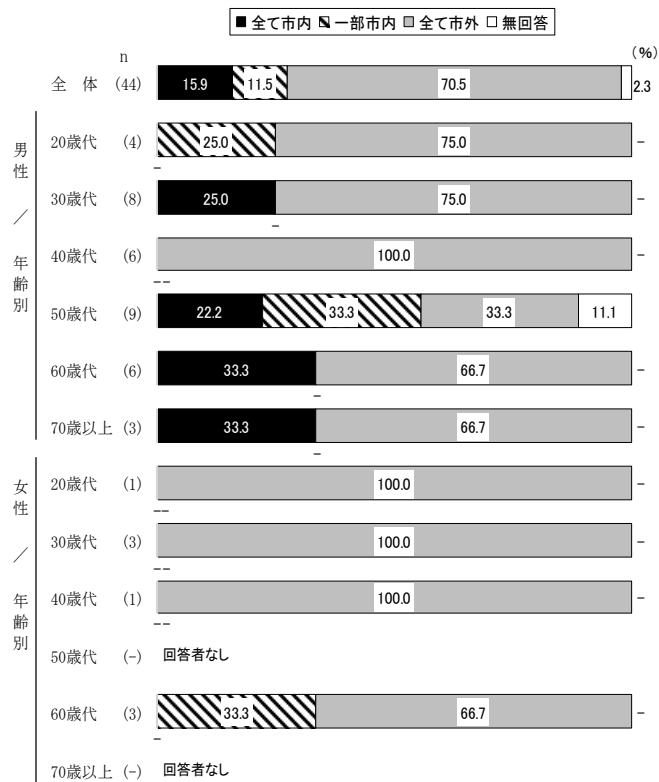
旅行代理店(国内旅行)



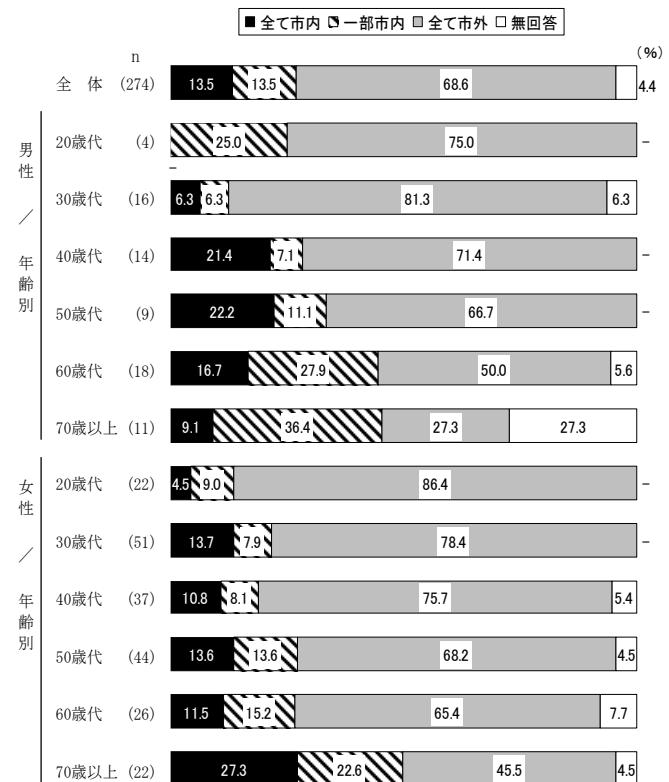
旅行代理店(国外旅行)

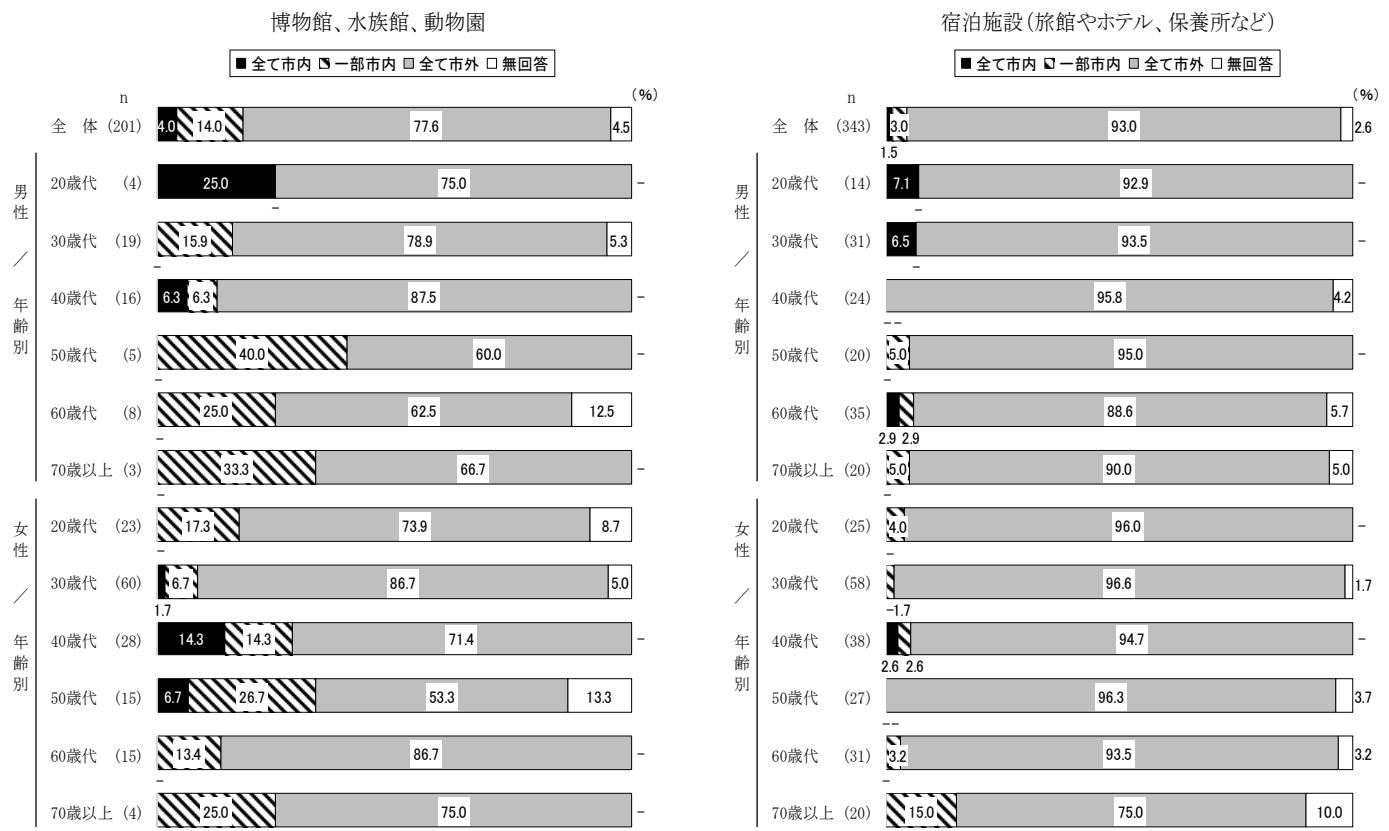


競馬・競輪



コンサート、演劇鑑賞、スポーツ観戦



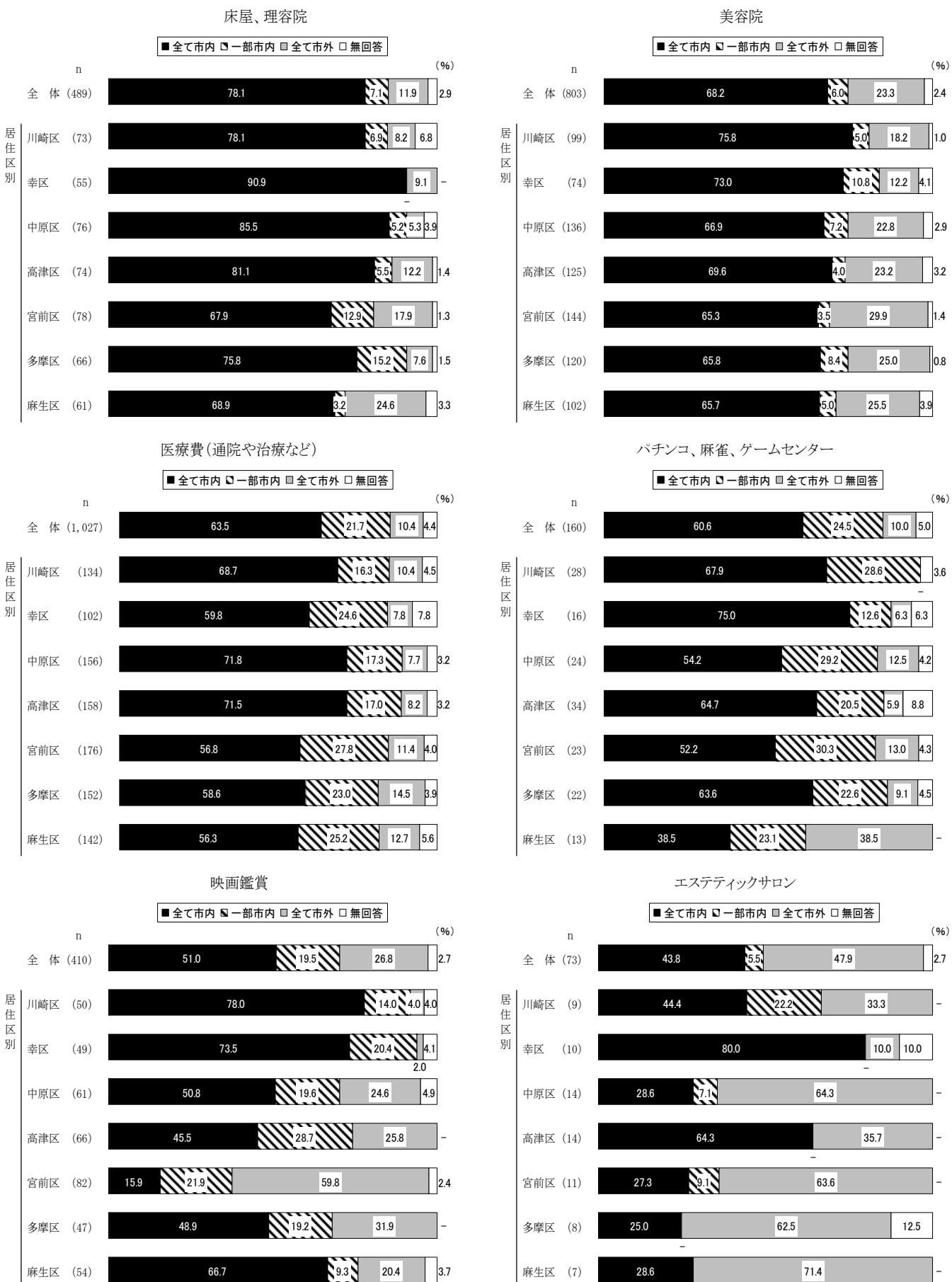


性／年齢別では、「美容院」は、『全て市内』が女性では年齢が高くなるにつれ割合が多くなる傾向となっている。「医療費（通院や治療など）」は、『全て市内』が、男性40歳代（54.5%）、男性50歳代（56.9%）で少なくなっている。（図表5-14）

(第1回アンケート)

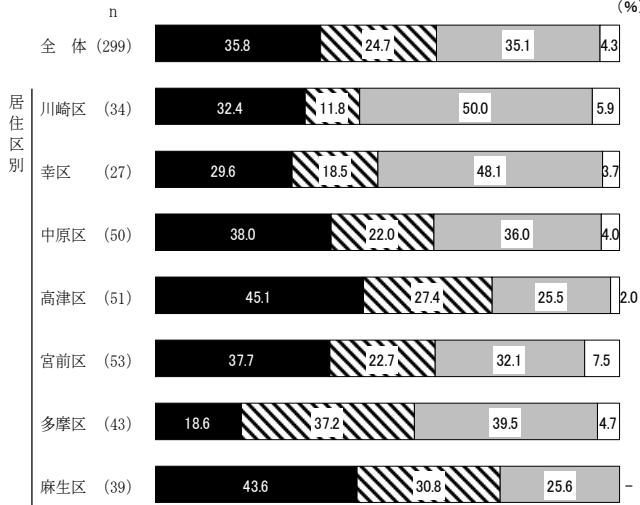
図表5-15 半年間の市内での消費割合（居住区別）

※グラフでは、「8割以上が市内」から「2割までが市内」を「一部市内」としている。



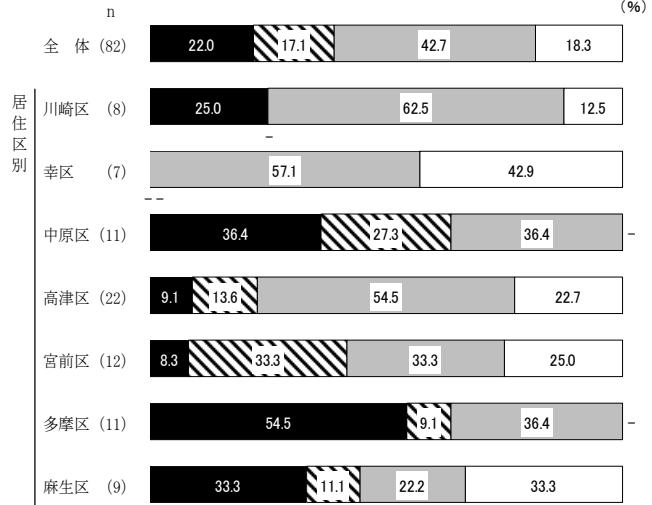
## 浴場施設(銭湯やサウナ、温泉、スパなど)

■全て市内 □一部市内 ▨全て市外 □無回答



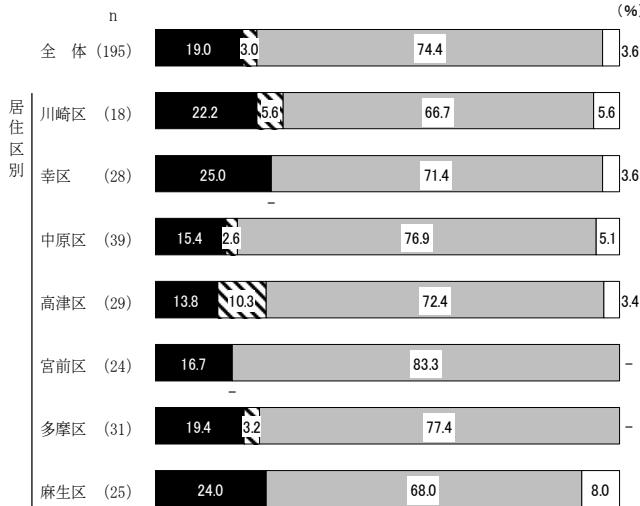
## 冠婚葬祭施設の使用料

■全て市内 □一部市内 ▨全て市外 □無回答



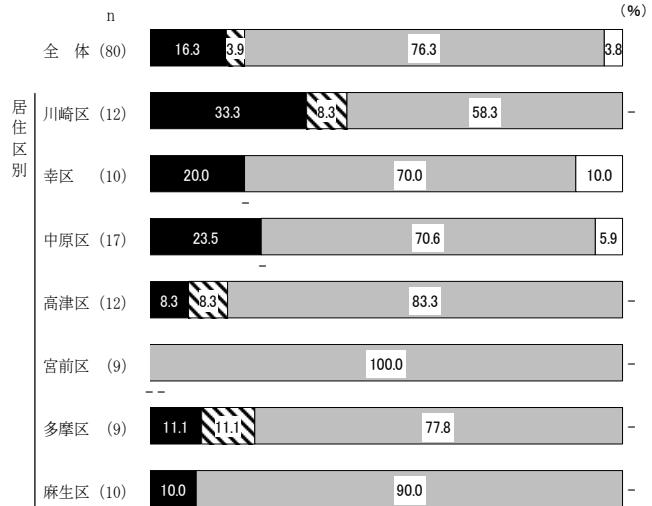
## 旅行代理店(国内旅行)

■全て市内 □一部市内 ▨全て市外 □無回答



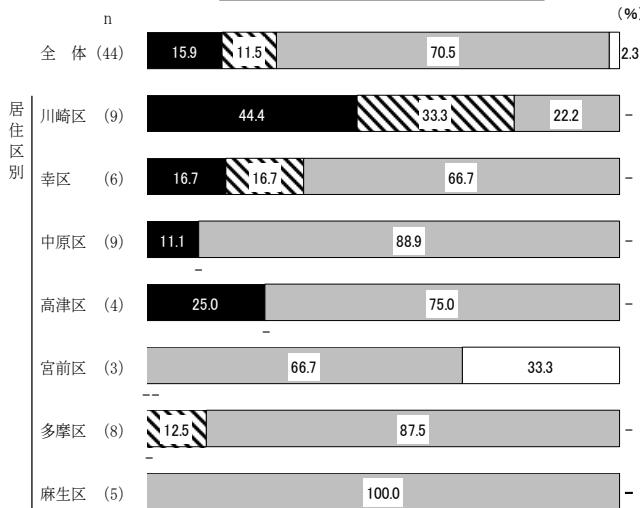
## 旅行代理店(国外旅行)

■全て市内 □一部市内 ▨全て市外 □無回答



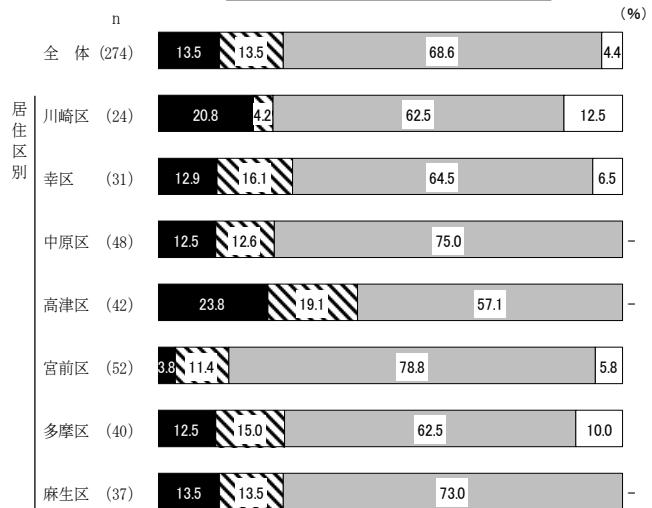
## 競馬・競輪

■全て市内 □一部市内 ▨全て市外 □無回答

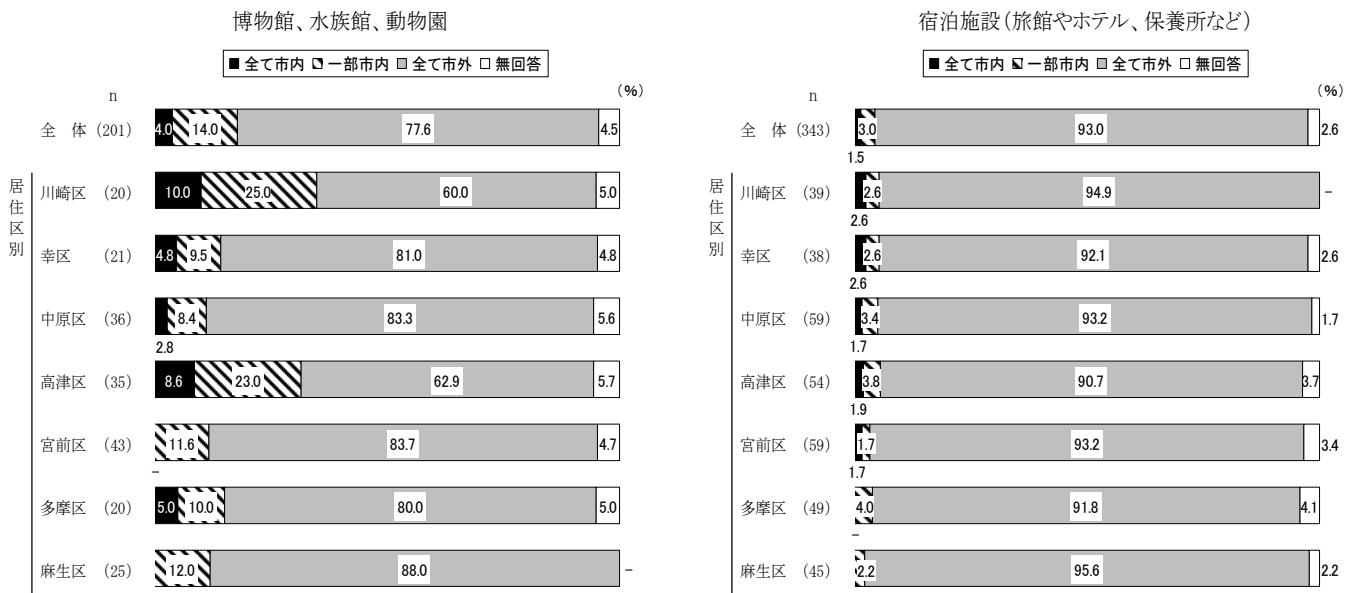


## コンサート、演劇鑑賞、スポーツ観戦

■全て市内 □一部市内 ▨全て市外 □無回答



(第1回アンケート)



居住区別では、「床屋、理容院」は、『全て市内』が幸区(90.9%)で最も多く、宮前区(67.9%)、麻生区(68.9%)で少なくなっている。「医療費(通院や治療など)」は、『全て市内』が中原区(71.8%)、高津区(71.5%)で多くなっている。(図表5-15)

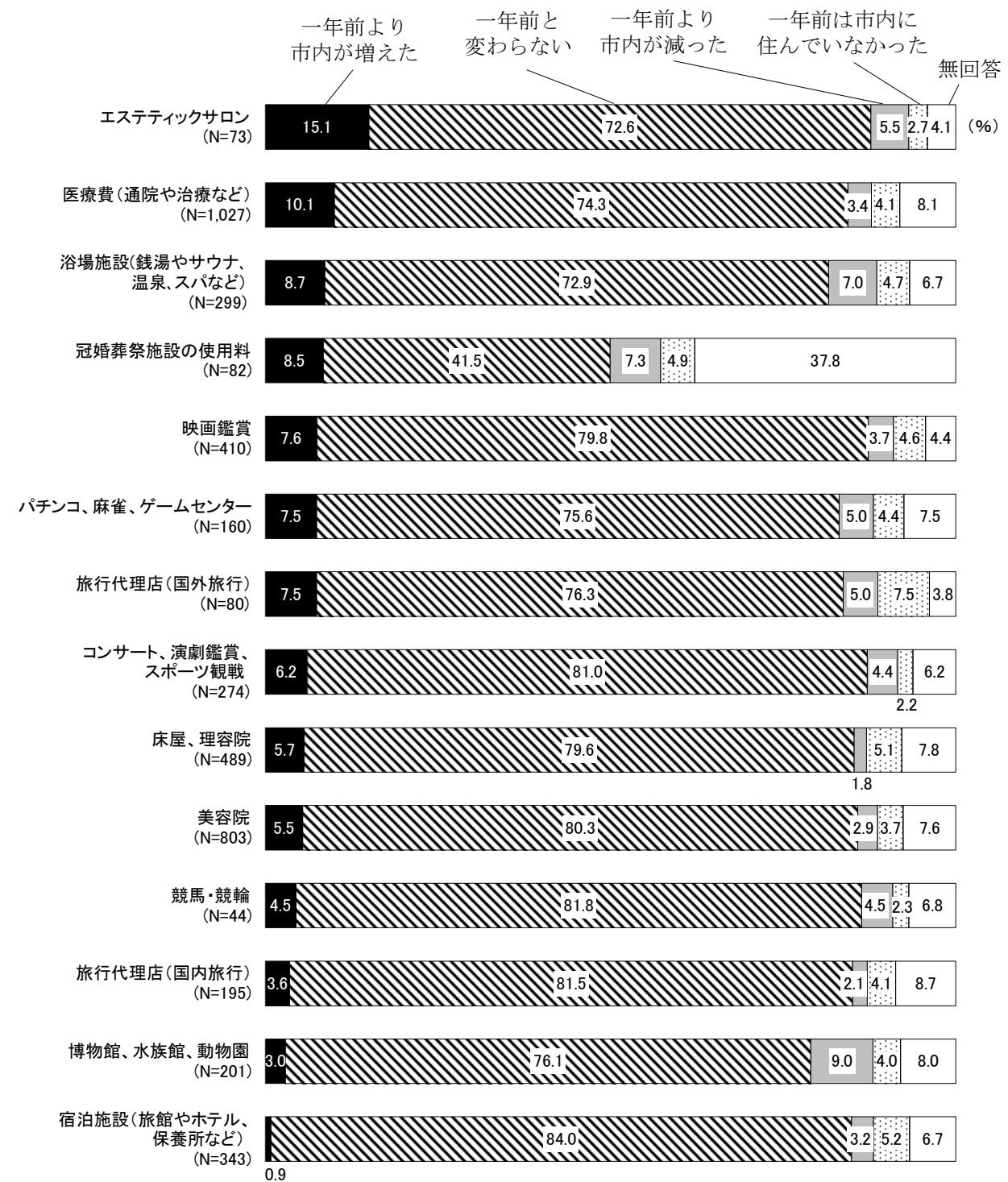
## 5-6 半年間の市内での消費状況の1年前との変化

◎『1年前より市内が増えた』 「エステティックサロン」が15.1%で最も多い

問18-1 問18で、この半年間にサービスや物を有料で消費（利用、購入など）した項目についてうかがいます。（問18で○をつけた項目についてうかがいます。）

- B. 1年前と比べて川崎市内での消費に変化はありましたか。  
1～4のあてはまる番号をお選びください。（○はそれぞれ1つずつ）

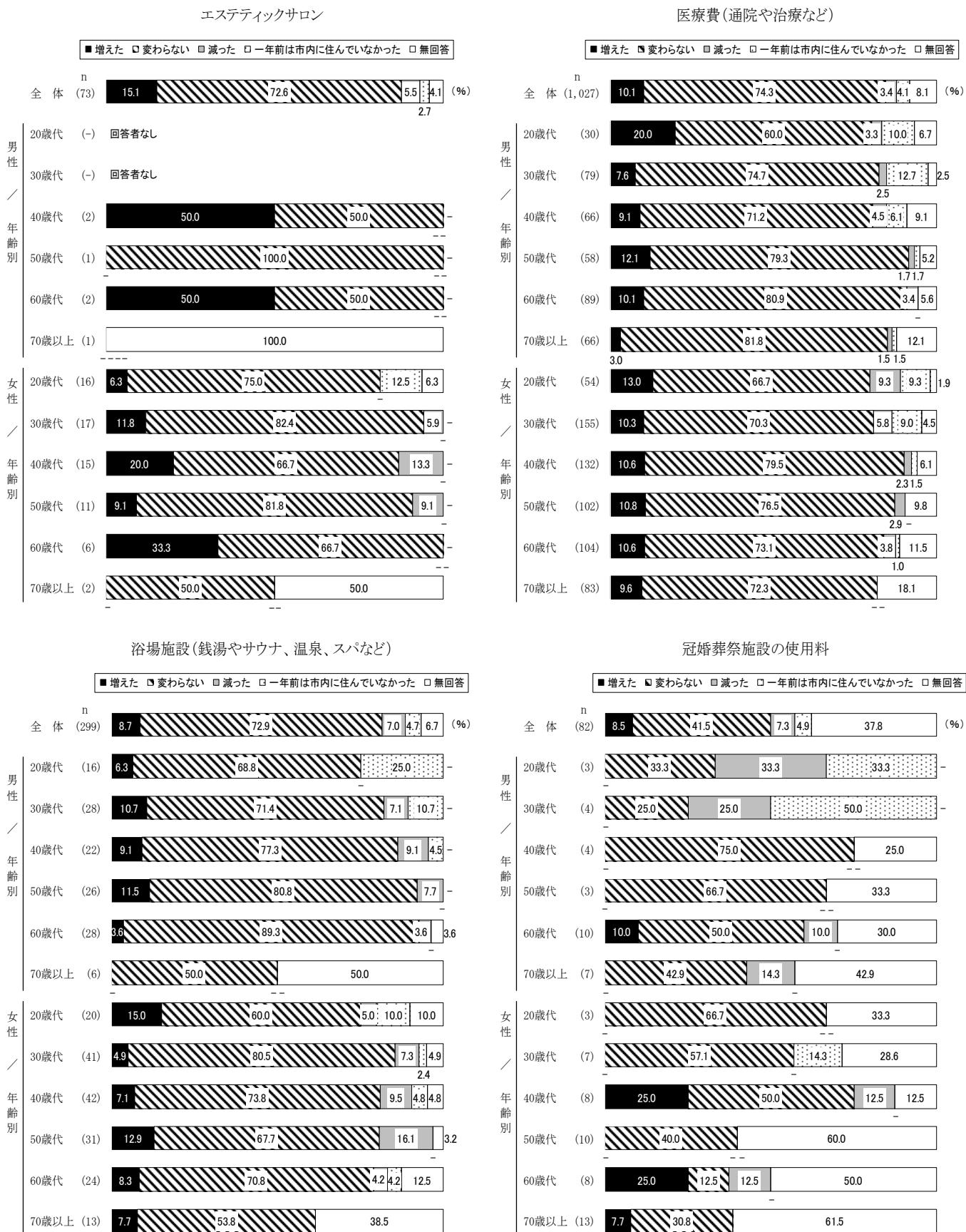
図表5-16 半年間の市内での消費状況の1年前との変化



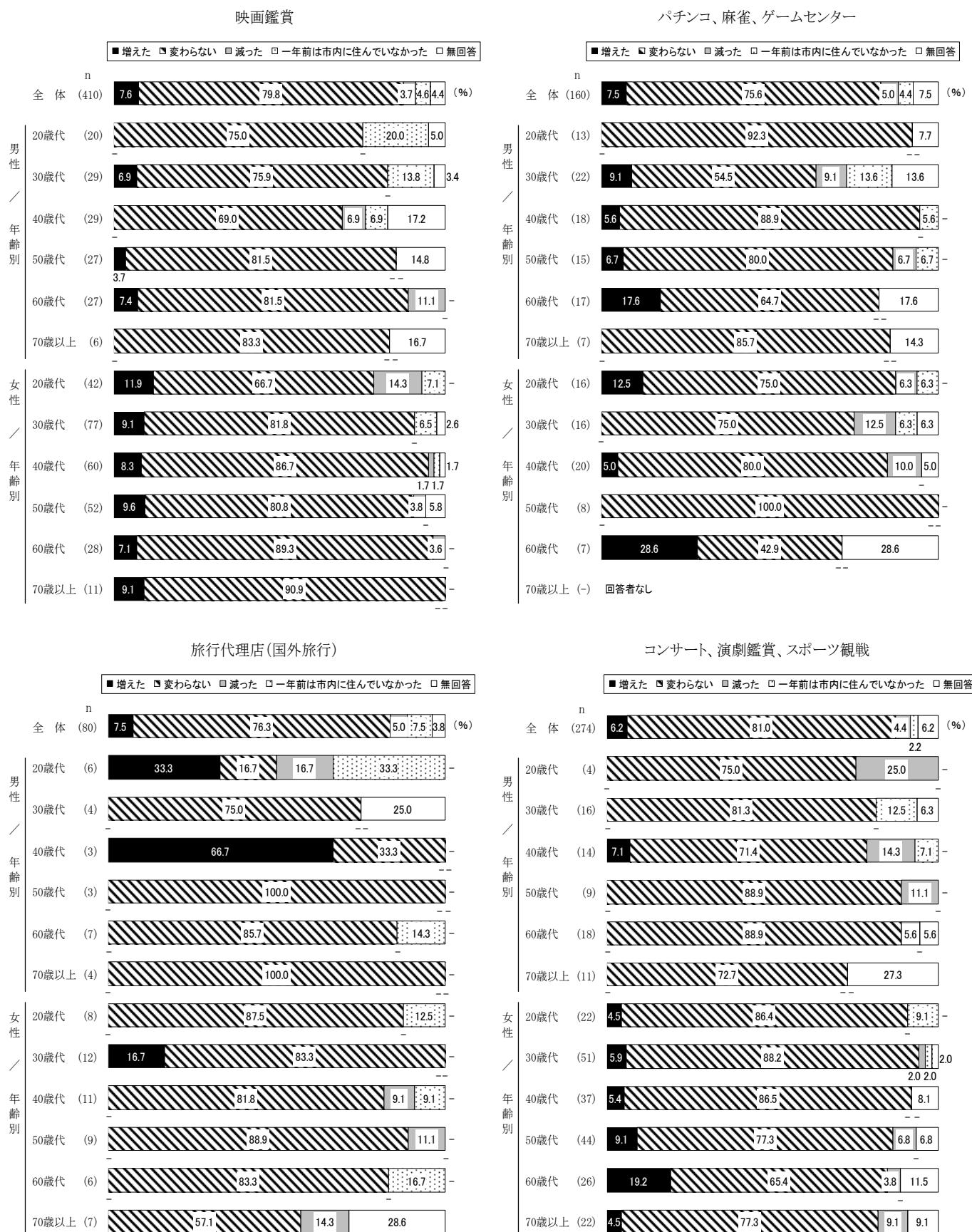
(第1回アンケート)

半年間の市内での消費状況の1年前との変化については、『1年前より市内が増えた』は、「エステティックサロン」(15.1%)が最も多く、次いで「医療費（通院や治療など）」(10.1%)、「浴場施設（銭湯やサウナ、温泉、スパなど）」(8.7%)の順となっている。一方、『1年前より市内が減った』は、「博物館、水族館、動物園」(9.0%)が最も多くなっている。(図表5-16)

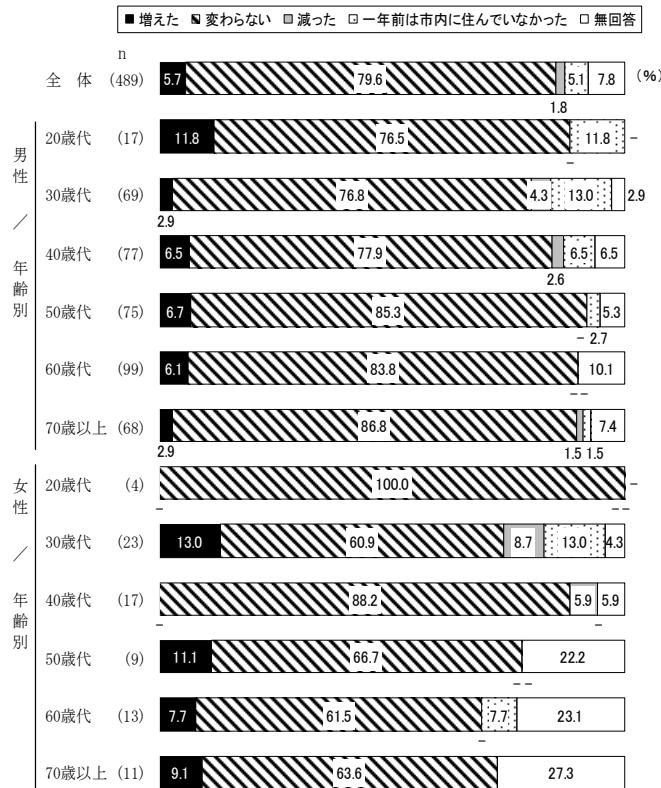
図表5-17 半年間の市内での消費状況の1年前との変化(性別/年齢別)



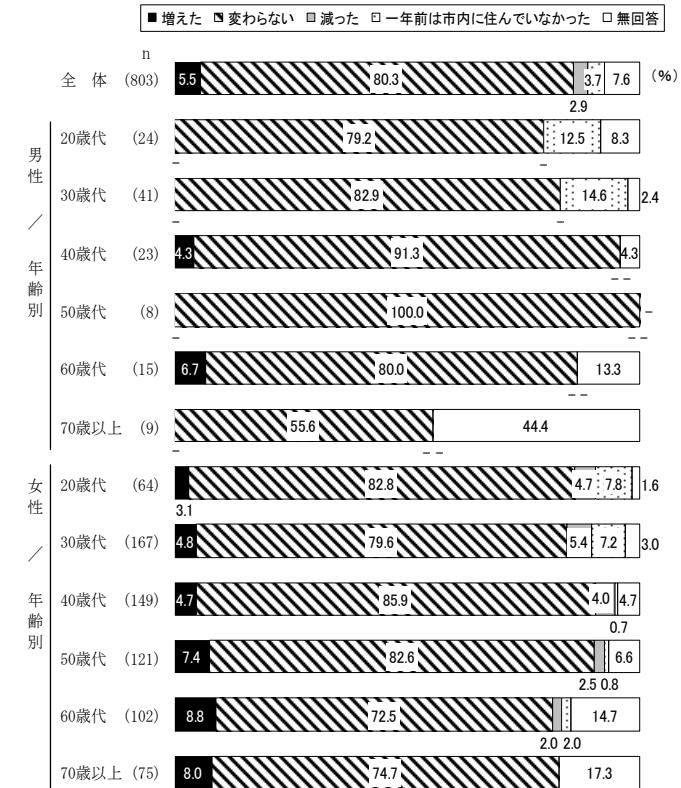
(第1回アンケート)



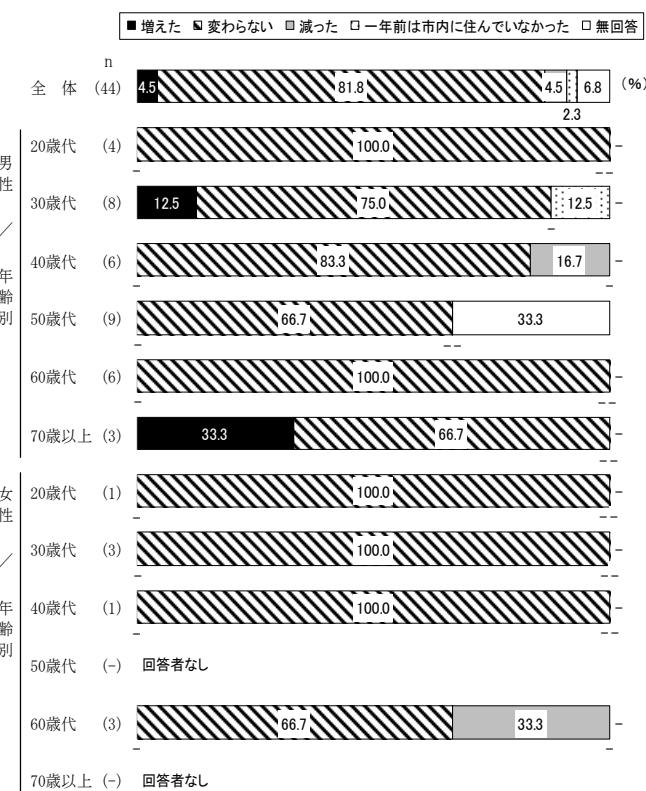
## 床屋、理容院



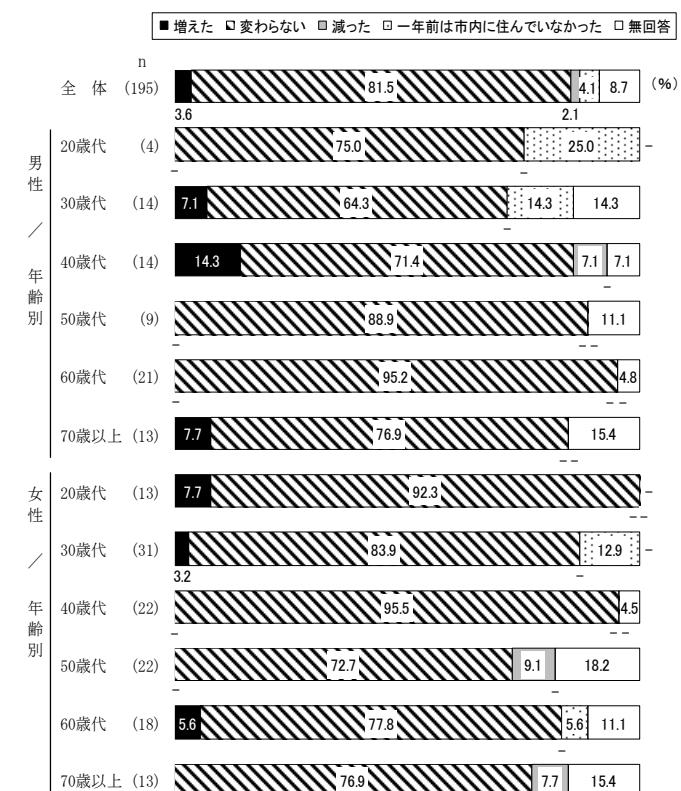
## 美容院



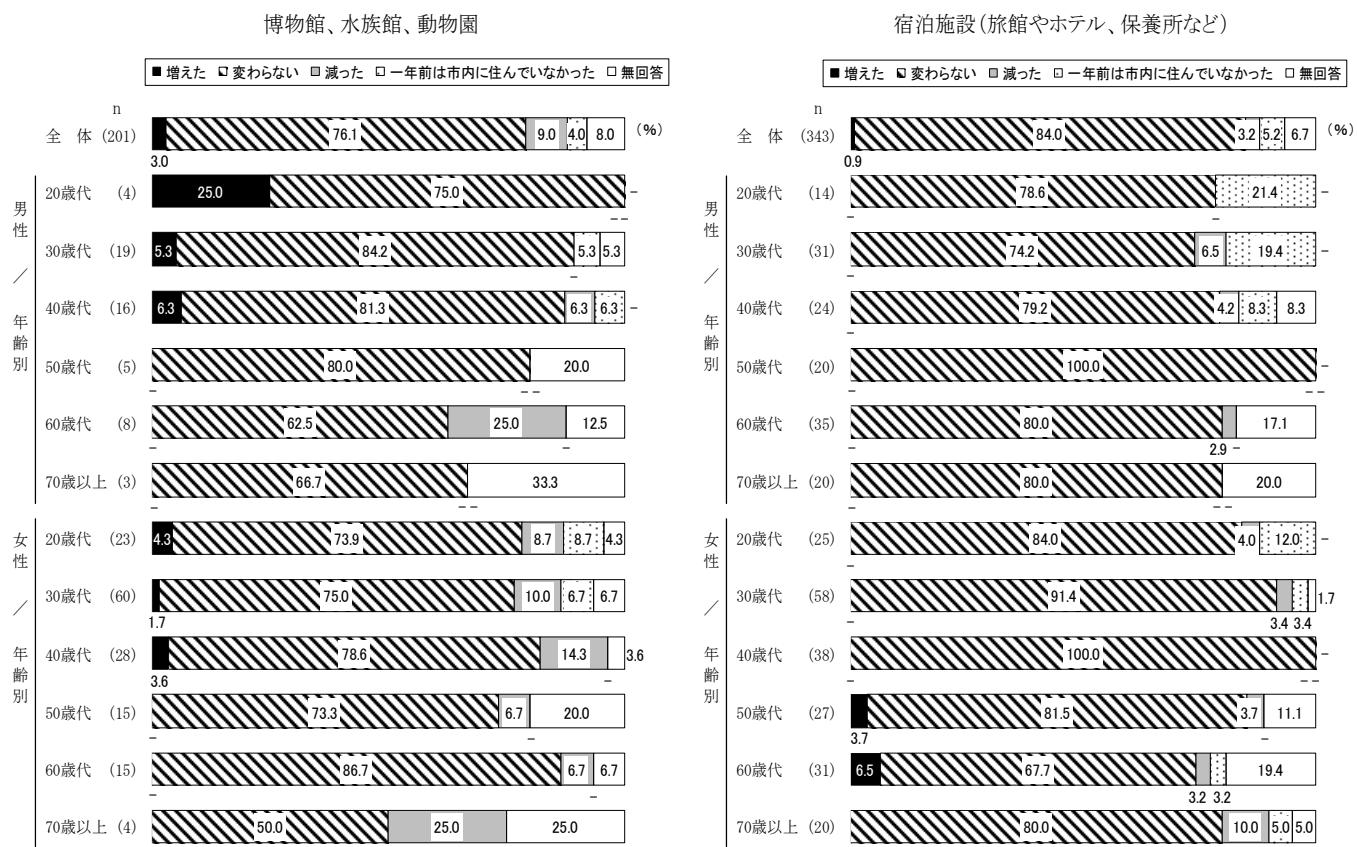
## 競馬・競輪



## 旅行代理店(国内旅行)

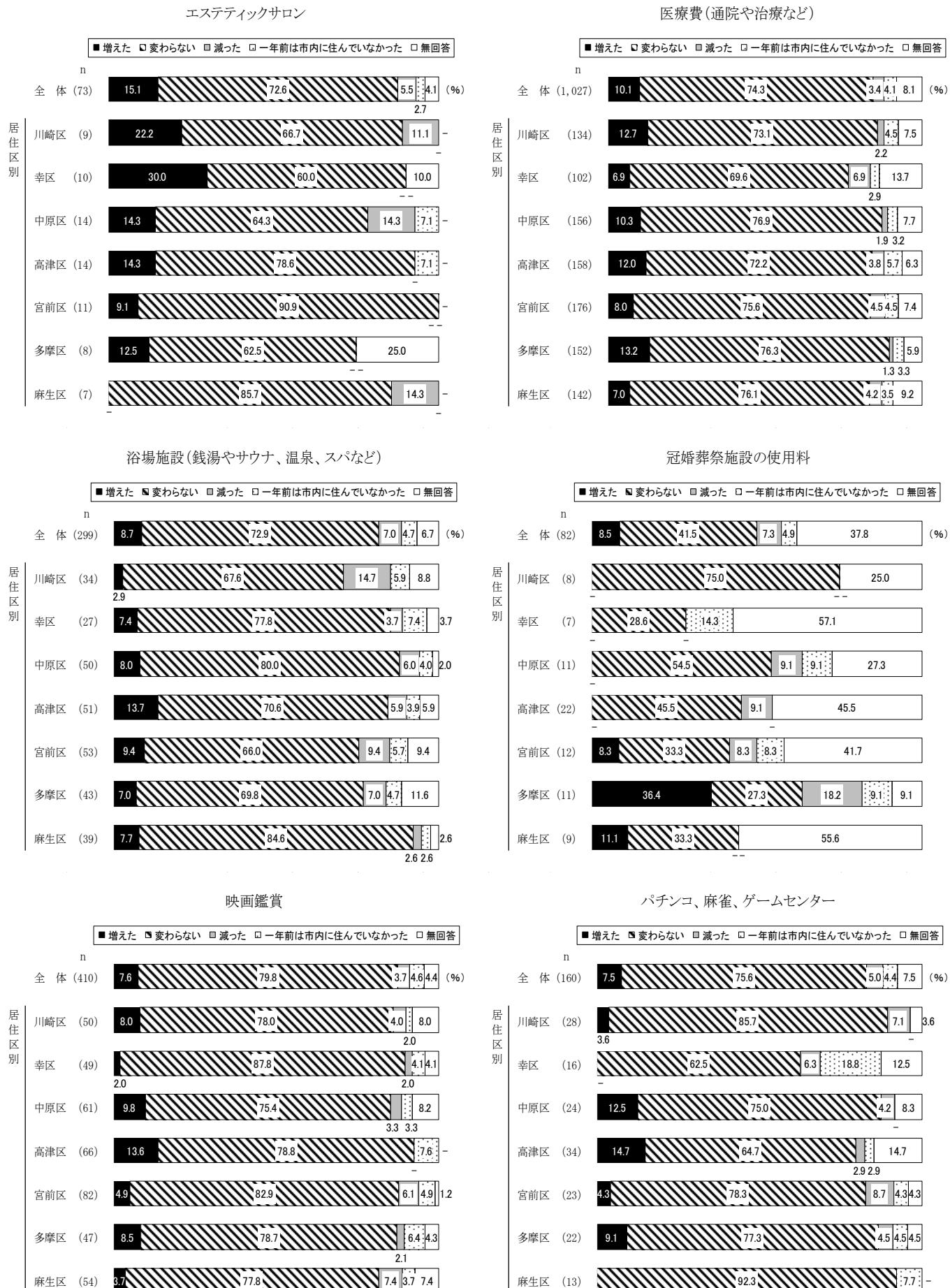


(第1回アンケート)



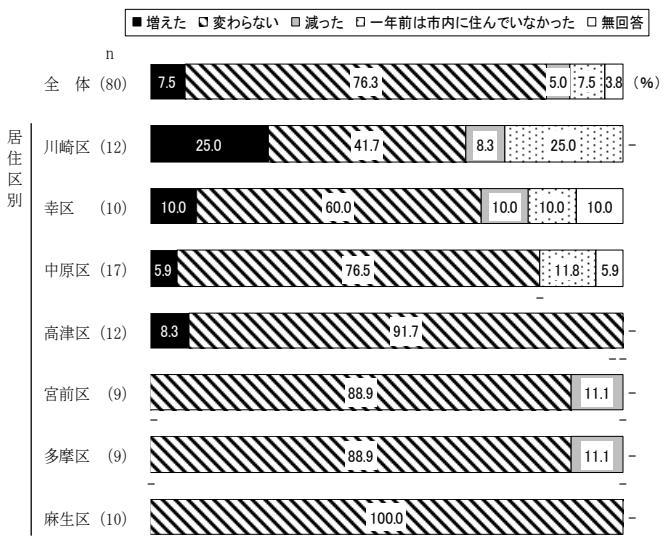
性／年齢別では、「医療費（通院や治療など）」は、『1年前より市内が増えた』が、男性では20歳代（20.0%）が最も多く、70歳以上（3.0%）が最も少なくなっている。（図表5-17）

図表5-18 半年間の市内での消費状況の1年前との変化（居住区別）

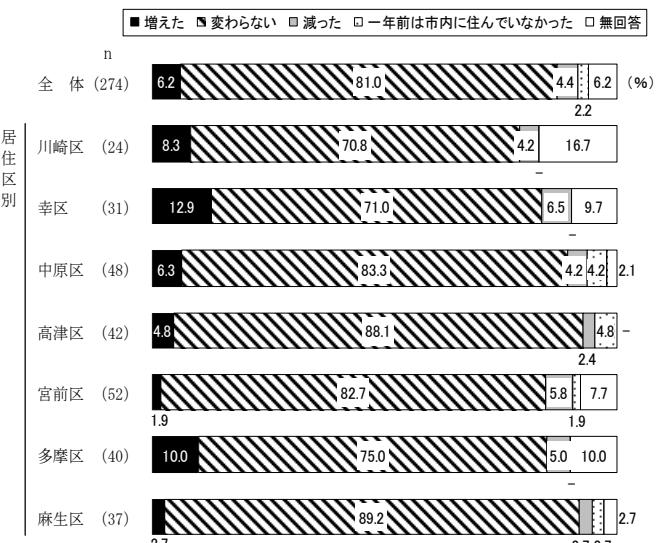


(第1回アンケート)

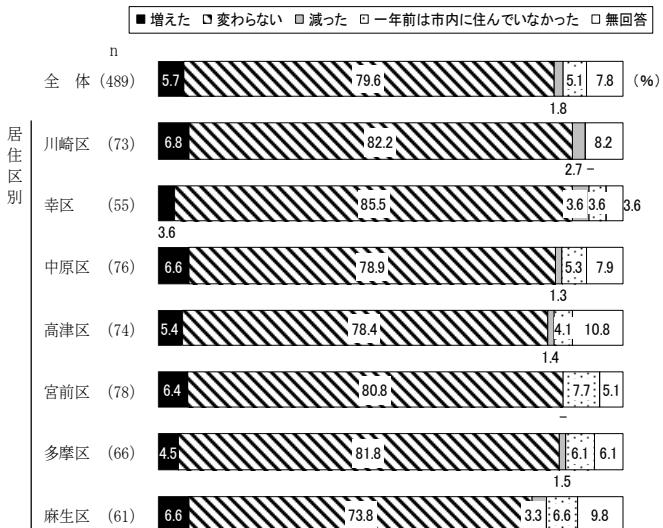
旅行代理店(国外旅行)



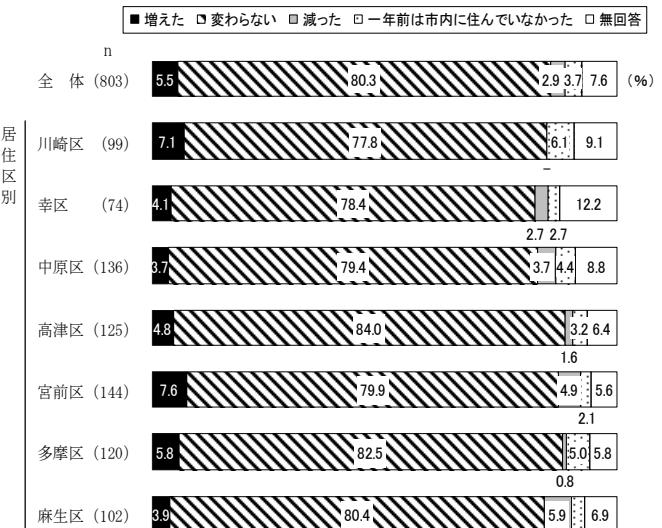
コンサート、演劇鑑賞、スポーツ観戦



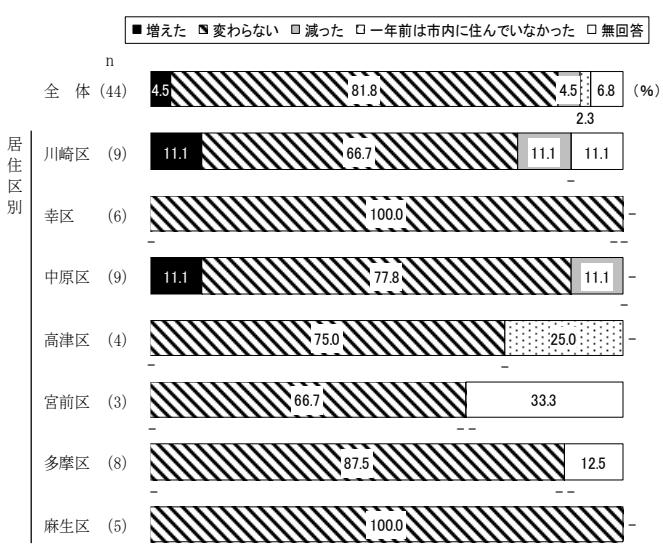
床屋、理容院



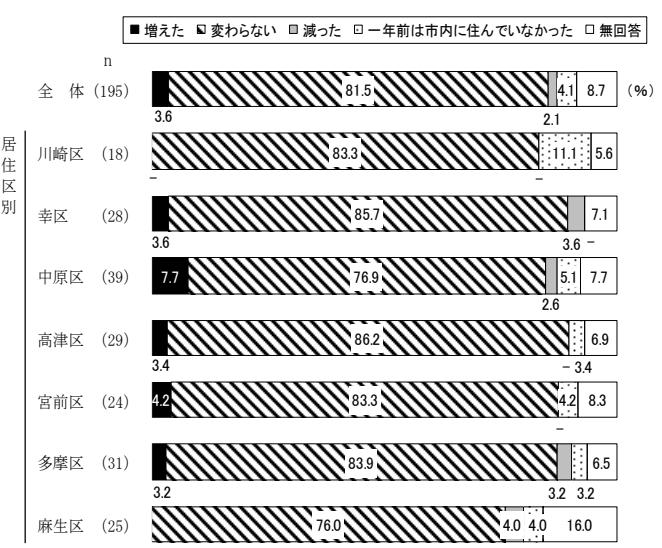
美容院



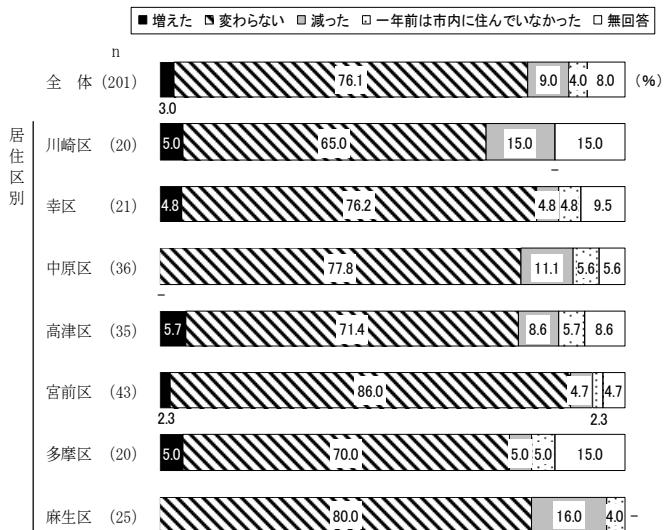
競馬・競輪



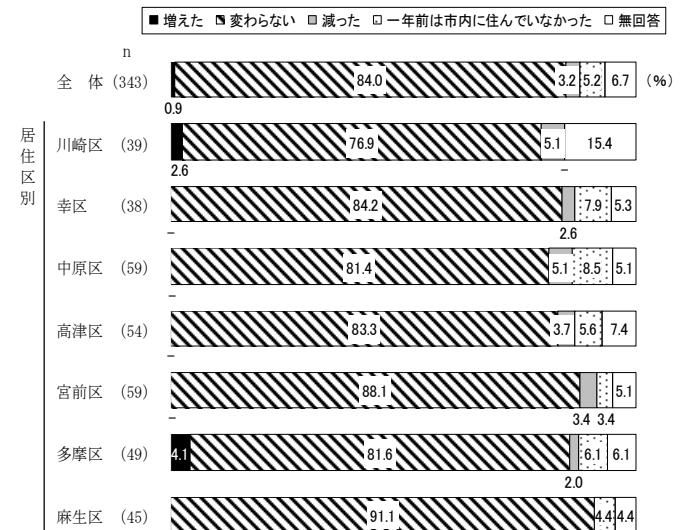
旅行代理店(国内旅行)



## 博物館、水族館、動物園



## 宿泊施設(旅館やホテル、保養所など)



居住区別では、「医療費（通院や治療など）」は、『1年前より市内が増えた』が、多摩区（13.2%）が最も多く、幸区（6.9%）、麻生区（7.0%）が少なくなっている。（図表5-18）

(第1回アンケート)